

資料紹介

井上哲次郎『巽軒日記―明治四五年・大正元年―』

村上 こそえ
森本 祥子

翻刻にあたって

明治期から昭和戦前期にかけて哲学者として活躍した、井上哲次郎（一八五五―一九四四年）の日記『巽軒日記』の明治四五年・大正元年分について引続き紹介したい。この年の特徴として、書き忘れも見られるが、日々の天気の情報がこの年以降記載されるようになった。なお、凡例については第31号で述べていることから割愛する。

巽軒日記

明治四十五年（西暦一九一二年）「壬子」 上半期

一月

一日、午前、晴天、九、一五出門、宮中拝賀、○黒田長成、石黒忠憲、花房義質、後藤新平、松本源太郎等と会見す、○青山東宮御所に拝賀に赴く、○浦谷熊吉、吉田熊次来賀す、○午后、植田彌吉、齋藤基次郎来賀す、○講習会の速記を訂正す、○博文館より「国民道徳叢書」（二）式部を送来る、○夜、速記を訂正す、○此日、

来賀者、百式拾五名、賀状葉書四百九拾通、封書百式拾通、合計七百参拾五、○「東亜の光」発行部数は、四千五百部、前年の一月に比すれば五百部増加、○東亜協会特別会員総数八百四拾式名、前年の一月に比すれば、増員百式拾名、○家族年齢如左、
主人……………五拾八歳（安政二年十二月廿五日生）
縫子……………五拾式歳（文久元年五月十二日生）
雪子……………三拾壹歳（明治十五年六月十一日生）
清子……………二拾壹歳（明治廿五年九月廿九日生）
宣光……………拾八歳（明治廿八年二月八日生）
春枝……………拾五歳（明治三十一年二月十二日生）
正勝……………拾三歳（明治三十三年八月廿四日生）
益之進……………九歳（明治三十七年九月二日生）
高子……………七歳（明治三十九年十一月廿一日生）
○伯爵東久世通禧逝く、享年八十、
二日、午前、賀状来る、葉書八十通、封書廿一通、○速記を訂正す、○眞浄寺より半紙、法貴慶次郎より鶏卵を送来る、○午后、速記

を訂正す、○井上成美、岸田繁次郎来賀す、○賀状葉書参拾八通、封書拾壹通、○来賀者総計五十五名、○夜、速記を訂正す、○「哲学と倫理」帝国教育に出づ、

三日、午前、賀状葉書七拾四通、封書式拾式通、合計九拾六通来る、○林勃爾来賀す、○速記を訂正す、○午后、米山健造より菓子を送来る、○年始の御礼に市街に出づ、○宣光及び英爾をして年始に赴かしむ、○賀状葉書四拾式通、封書拾参通、合計五拾五通来る、○来賀者式拾八名、○「支那今後の政体と日本」中外日報に出づ、○夜、礼状を蛸瀬彦藏、村木維夫及び鈴木貞太郎に送る、○賀状葉書七百枚を送り尽す、

四日、午前、晴天、賀状葉書参拾式通、封書拾式通、合計四拾四通来る、○帝国の海軍力総噸數約五十万噸、主力艦三十六万噸、戦闘艦十五隻二十三万二千九百八十噸、装甲巡洋艦合計十三隻十三万八千四百八十三噸、二等巡洋艦十二隻五万八千六百七十二噸、三等巡洋艦八隻二万三千九百十八噸、其他海防艦、砲艦、通報艦、水雷母艦、駆逐艦、水雷艇、総合計百八十三隻、五十二万六千八百八噸、○午后、賀状葉書拾参通、封書式通合計拾五通来る、○賀状封書拾五通を發送す、○蟹江操子、乃木希典来賀す、○来賀者九名、○速記を訂正す、○浅倉屋より海苔と手帳とを送来る、○「祖先崇拜に就いて」弘道に出づ、○夜、速記を訂正す、

五日、午前、賀状葉書式拾式通、封書九通来る、○新年宴会に宮中に赴く、○森林太郎、徳川頼倫、呉秀三、長井長義、田所美治等と宮中に会见す、○午后、賀状葉書四通、封書壹通来る、○辻本卯藏来訪す、○運動に小日向に出づ、○賀状葉書壹通封書来る、

○来賀者壹名、○帝国学士院より来状、○夜、縫子、成美宅に赴く、○北原種忠の「国民教典」を閲読す、○此日、加藤玄智より漬物老樽を送来る、○男爵岩佐純逝く、享年七十八、

六日、午前、賀状葉書参通封書参通来る、○英爾を岸田宅に遣はず、○吉田雪子及び岸田繁次郎来談す、○淺石チエ子、東亜協会々員となる、○「東亜の光」、再版五百部を發行す、○午后、賀状葉書参通来る、○速記を訂正す、○久保良英来訪す、○来賀者参名、○夜、速記を訂正す、○烈風

七日、午前、晴天、在米国野田義夫より来状、○賀状葉書八通、封書式通、来る、○春山作樹来訪す、○速記を訂正す、○大倉書店より西洋状紙及び布袋を送来る、○午后、富田春山及び飯沼松枝より来状、○丸善より「哲学字彙」二十部を送来る、○英爾を遣はして哲学字彙を志部元良勇次郎に送る、○書状を藤井健治郎、岩田僊太郎及び大島義脩に送る、○夜、「冷熱録」を読む、○此日、来賀者壹名、○元日より七日に至る迄賀状葉書総計八百拾通、封書総計式百拾七通、合計一千〇式拾六通、来賀者総計式百式拾参名、総合計一千式百四拾九、

八日、午前、晴天、賀状葉書七通来る、○速記を訂正す、○三省堂より海苔を送来る、○清子、雙葉会に赴く、○井上健兒より魚類を送来る、○午后、飯沼松枝より「修養と理想」を送来る、○三大寺本紹来訪す、○雙葉女学校に赴く、○不在中藤井直子来訪す、○速記を訂正す、○文科大学、東林寺及び藤村平信より来状、○賀状葉書九通、封書四通、合計拾参通来る、○夜、速記を訂正す、九日、午前、晴天、書状を山田喜之助に送る、○速記を訂正す、○浦谷熊吉来談す、○「精神教育の必要」福岡日々新聞に出づ、○

午後、三大寺本紹来る、乃ち談話を筆記せしむ、○千葉亀雄来る、乃ち談話を筆記せしむ、○伊藤吉之助来る、乃ち「東洋倫理学講義」速記三冊を付与す、○清子、吉田及び姉崎宅及び櫻井ちか子宅に赴く、○「哲学字彙」を清子に托して吉田熊次及び姉崎正治に送る、○速記を訂正す、○賀状葉書宅通来る、○夜、速記を訂正す、○久保良英より来状、○「人生と修養」通信協会雑誌に出づ、○教科書会より書類来る、

十日、午前、晴天、学習院に赴く、○廣井辰太郎、女学部に来訪す、○午后、大学山上御殿に赴く、○「哲学字彙」を二部大学図書館に寄附し、藤岡勝二、中島力造及び大槻快尊に各各部を付与す、○山田喜之助より来状、○古川黄一より校正来る、校正を古川黄一に送る、○朝永秀子、姉崎袖子、浦谷ふみ来訪す、○賀状封書三通来る、○夜、小林一郎内、小島伊左美、及び文科大学より来状、○速記を訂正す、○丸善より来状、

十一日、午前、浦谷熊吉来談す、○「国民性十論」と「日本武士道」を読む、○書状を元良勇次郎に送る、○岩田僊太郎より来状、○小島伊左美より *Lehrbuch des Deutschen* を送来る、○午后、講義に大学に赴く、○大学図書館に赴く、○夜、興学会に山上御殿に赴く、○不在中島居きみ子、ビスクキットを携来る、○千葉亀雄より筆記を送来る、○在朝鮮鳥居龍藏より絵葉書来る、○筆記を訂正す、

十二日、午前、土屋幸正より来状、○伊藤吉之助、横山正恭外名来訪す、○筆記を訂正して、之を千葉亀雄に送る、○縫子、吉田宅に赴く、○「聖人々格の新觀察」を草す、○午后、教科書会に文部省に赴く、○引続き文章を草す、○帝国学士院に赴く、

○夜、十時頃帰宅、○大島義脩より来状、○「新境遇に對する、道德的要求」丁酉倫理に出づ、○「意志活動と自我概念」哲学雑誌に出づ、

十三日、午前、講義に高等師範に赴く、○午后、箕作元八、小林一郎、増田乙四郎、浦谷熊吉来訪す、○英爾を姉崎宅に遣はす、○書状を星野恒に送る、○賀状葉書宅通来る、○夜、古川黄一より校正来る、○論文を草す、○賀状葉書宅通来る、○丸善より来状、十四日、午前、黒川眞道、有馬祐政、姉崎正治、松浦一、石川景藏、鹿島増藏来訪す、○広告文を丸善に送る、○岸田繁次郎より報告書来る、○古川黄一より校正来る、○午后、校正を古川黄一に送る、○Henri Bergson, *Creative Evolution* を読む、○増田乙四郎来訪す、有故不遇、○「哲学字彙」を加藤弘之に送る、○夜、引続き Bergson を読む、○来栖守衛より来状、○物集高見妻柳子の訃報来る、○在ライプチヒ市朝永三十郎より絵葉書来る、○賀状葉書宅通来る、

十五日、午前、講義に大学に赴く、○午后、深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎、北原種忠、角田松壽来訪す、○渡辺徹、「人格論」を携来る、○森茂、東亜協会々員となる、○Bergson, *Creative Evolution* 及び「国民性十論」を読む、○小西重直より「現今教育の研究」を送来る、○論文を草す、○夜、加藤弘之より来状、○引続き論文を草す、○在布哇井上円了より絵葉書来る、

十六日、午前、晴天、在ライプチヒ市石橋智信より来状、○実業之日本社より来状、○大阪大火、○論文を草す、○林甕臣来訪す、有故不遇、○午后、三上義夫より書状と論文とを送来る、○立柄教俊、「朝鮮国宝大観」を携へて来訪す、○浦谷熊吉来訪す、

○在ライプチヒ市上田整次より賀状来る、○論文を草す、○夜、引続き論文を草す、○「国民教育と平和主義」下野教育に出づ、十七日、午前、学習院に赴く、○午后、委員会に山上御殿に赴く、○不在中横山三義、蓮沼門三の書状を携来る、○セール、フレージャー会社より来状、○小林義則来訪す、○「古事類苑」宗教部(二)を送来る、○北原種忠より来状、○甘木より反物及び「キナコ」を送来る、○浦谷熊吉、原稿を携来る、○「家庭の真意義」婦人画報(新家庭号)に出づ、○夜、論文を草す、○教科書会より書類来る、○セール、フレージャー商会より「天界と地獄」を送来る、○三省堂より原稿を送来る、

十八日、午前、晴天、論文を草す、○古川黄一より校正来る、○校正を古川黄一に送る、○浦谷熊吉来る、○午后、「国民性十論」を読む、○講義に大学に赴く、○内ヶ崎作三郎、東亜協会々員となる、○林昶来訪す、○「三千年前の神勅」美濃新聞に出づ、○夜、論文を草す、○田中稻城及び村山農学校より来状、○内田嘉吉より「清国行政法」を送来る、○賀状葉書式通来る、

十九日、午前、姉崎正治来談す、○増田乙四郎来訪す、有故不遇、○書状を田中稻城、伊藤裕、及び物集高見に送る、○伊藤吉之助、Biologicaを携来る、○午后、教科書会に文部省に赴く、○吉田たま子、相原熊太郎来訪す、○長谷川鎗一、塩谷温より来状、○論文を草す、○賀状葉書式通、封書巻通来る、○夜、論文を草す、○原稿を活版所に送る、○詩を浦谷熊吉に送る、○物集高見より礼状来る、

二十日、午前、晴天、Bergson, Creative Evolutionを読む、○縫子を三井銀行に遣はす、○神奈川県視学服部某来訪す、○帝国教育会

より使者来る、○午后、森山章之丞及び宮本和吉より来状、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○宮本和吉、三好愛吉来訪す、○田村順三郎及び日之出生命保険会社より来状、○運動に小日向に出づ、○夜、書状を日之出生命保険会社及び田村順三郎に送る、○帝国学士院より来状、○Bergsonを読む、

廿一日、午前、晴天、西村尚俊、武内紫明、榎本恒太郎、谷内正順、浦谷熊吉来訪す、○鷺尾順敬より書状と「仏家人名辞書」とを送来る、○午后、Bergson, Creative Evolutionを読む、○夜、書状を浦谷熊吉に送る、○研究、○Max Verworn, allgemeine Physiologieを読む、○雨、

廿二日、午前、晴天、Wundt, Grundzüge der physiologischen Psychologieを読む、○加藤駒二より来状、○講義に大学に赴く、○書状を藤井健治郎に送る、○得能文妻、海苔を携来る、○午后、山岸光宣、岩田僊太郎、姉崎正治、千葉勉、深作安文妻、樋口秀雄妻来訪す、○文科大学より使者、書状を携来る、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○夜、Bergson, Creative Evolutionを読む、○藤井健治郎及び教科書会より来状、○「三略」を読む、

廿三日、午前、晴天、加藤駒二より来状、○「三略」を読む、○渡川成文来訪す、有故不遇、○在巴里市辻善之助より賀状絵葉書来る、○「東亜の光」を読む、○午后、浦谷熊吉、「東亜の光」(四聖号)第三版を携来る、初版再版三版総印刷高四千八百部、○金港堂より奥附(中学修身の分)四千五百部を送来る、○Wundt, Grundzüge der physiologischen Psychologieを読む、○夜、杉山直記来る、乃ち談話を速記せしむ、○文科大学より来状、○「三略」を読む、○「中学修身」四千五百部の奥附を金港堂に付与す、

- 廿四日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、大学の会計課に赴く、○文科の教授会に出席す、○石川県知事李家隆介より来状、○杉山直記より速記を送来る、○岩田僊太郎より来状、○夜、「三略」及び「国民性十論」を読む、○此日、所得税四拾貳円〇七銭、宅地租七円五拾八銭五厘、府税市税七円七拾五銭、合計五拾七円四拾銭五厘を区役所に納む、
- 廿五日、午前、晴天、「六韜」と「三略」とを読む、○千代を大学会計課に遣はす、○吉田雪子来談す、○書状を石川県知事李家隆介に送る、○午后、講義に大学に赴く、○「哲学字彙」三百部の奥附を丸善に付与す、○姉崎正治、藤井健治郎来訪す、○杉山直喜より速記を送来る、○「大日本統藏経」二套を受取る、○夜、東洋大学より来状、○書状を伊藤裕に送る、○此日、宗教倫理談話会の為に案内状約二十通を発送す、
- 廿六日、午前、雨天、大学より「大日本史料」(四の十一)を、文明協会より「泰西英傑伝」(五)及び「米国の対東外交」を送来る、○伊藤裕及び岩田僊太郎より来状、○活版所より「東亜の光」口絵を送来る、○書状を伊藤裕に送る、○「教界春秋」を草す、○志水代次郎より漬物壺樽を送来る、○午后、文部省より「平家物語考」を送来る、○「教界春秋」を草して之を活版所に送る、○浦谷熊吉、志水代次郎来訪す、○文科大学より来状、○夜、哲学会に赴く、○修養団より来状、
- 廿七日、午前、今泉丈助より来状、○高等師範に赴く、○午后、渡邊館、箕作元八の紹介によつて来訪す、○「東亜の光」口絵解題を活版所に送る、○鷹野勇雄来訪す、○書状を貞金近松に送る、○ Bergson, Creative Evolution を読む、○ Wundt, Grundzüge

- der physiologischen Psychologie を読む、○速記を訂正す、○夜、市河三喜来訪す、○速記を訂正す、○順天中学より招待状来る、
- 廿八日、午前、加藤玄智来訪す、○御真影拜戴式に順天中学に赴き、一場の演説をなす、○不在中伊藤吉之助来訪す、○午后、Franz Brentano, Psychologie vom empirischen Standpunkte 及び William James, The Principles of Psychology を読む、○間千代、岩田僊太郎来訪す、○吉田雪子来談す、○西村尚俊より来状、○夜、James, Psychology を読む、
- 廿九日、午前、講義に大学に赴く、○午后、伊藤吉之助、平塚唯鳩来訪す、○渡辺館、茶器を携来る、○小杉熙より蟹を送来る、○藤井健治郎の原稿を閲読す、○「支那の過去及び将来」日本及日本人に出づ、○「結婚に対する女子の注意」淑女か、みに出づ、○夜、納谷直次郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○藤井氏の原稿を閲読す、○縫子、清子及び春枝と通俗教育講演会にお茶の水に赴く、○文科大学及び土宜法龍より来状、
- 三十日、午前、晴天、北村教嚴、浦谷熊吉、藤井健治郎、Granatzky 来訪す、○原稿を訂正す、○安達常正及び伊藤裕より来状、○午后、宗教談話会に山上御殿に赴く、来会者は加藤弘之、徳川達孝、嘉納治五郎、伊澤修二、矢野茂、佐藤鐵太郎、成瀬仁藏、床次竹二郎、岡田良平、田中喜一、高島平三郎等約三十名、○夜、九時半閉会、十時頃帰宅、○月明、○広島県教育会長根岸福弥より来状、○在倫敦中村和之雄より賀状葉書来る、
- 卅一日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○国書刊行会より「明良洪（註）及び「近世文芸叢書」(十一)を送来る、○電報を杉山直喜に送る、○「現代の女子は如何にして

修養すべきか」婦女界に出づ、○夜、「六韜」及び「兵術精髓」を読む、○此月、賀状葉書八百参拾七通、封書式百式拾五通、合計一千〇六拾式通、○到来物如左、

紙	眞浄寺	菓子	樋口秀雄内
茶器	順天中学	カステーラ	吉田豊吉内
鶏卵	法貴慶次郎	朝鮮国宝	立柄教俊
菓子	米山健造	海苔ト手帳	浅倉屋
蟹	小杉熙	漬物壺樽	加藤玄智
海苔	三省堂	西洋状紙状袋	大倉書店
肴	井上健兒	ビスケット	鳥居きみ子
キナ子及反物	甘木	ハンケチ	深作内
海苔	得能文内	菓子及手帳	間千代
菓子	富田順吉	巻紙	久保良英

二月

一日、午前、晴天、書状を安達常正に送る、○「六韜」及び「兵術精髓」を読む、○午后、「兵術精髓」を読む、○講義に大学に赴く、○姉崎正治来訪す、○夜、杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、
 二日、午前、小雨、渡邊政吉来訪す、○大学の使者来る、乃ち之に北村教嚴の論文と姉崎正治への書状とを付与す、○藤井健治郎の原稿を訂正す、○文成社より報酬を送来る、○岩田僊太郎より来状、○午后、「東亜の光」(七の二)成る、○浦谷熊吉、岸田繁次郎、白坂栄彦来訪す、○豊島二三雄、村上彦一、東亜協会々員となる、○岩田僊太郎より「勅語教本」を送来る、○杉山直記より速記を送来る、○原稿を訂正す、○夜、藤井健治郎来訪す、○速記を訂正す、

三日、午前、小雨、哲学会の速記を訂正す、○縫子吉田宅に赴く、○午后、吉田熊次来談す、○杉山直記より速記を送来る、○速記を訂正す、○帝国教育会の速記を訂正す、○井上円了歓迎会に上野精養軒に赴く、石黒忠憲、南條文雄、日下寛、土屋弘、前田慧雲等と会见す、○夜、八時頃帰宅、○田中稻城及び教科書会より来状、○速記を訂正す、

四日、午前、晴天、松浦一、山岸光宣、浦谷熊吉、林昶、宇野哲人来訪す、○吉田熊次、藤岡勝二を訪ふ、○白坂栄彦より来状、○英爾を吉田宅に遣はす、○宮内省より紀元節の招待状来る、○午后、高橋正熊、姉崎益子来訪す、○英爾を宮本和吉に遣はして、哲学雑誌の原稿を送る、○夜、丁酉倫理会に赴き、十時頃帰宅、○月明如昼、

五日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○宗教学研究室に立寄る、○午后、伊藤吉之助、岸田繁次郎、三浦哲郎、宮崎彦磨来訪す、○「兵術精髓」を読む、○夜、帝国学士院及び日之出生命保険会社より来状、○新井田次郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○「六韜」を読む、○藤井健治郎の原稿を閲す、○此日、井上円了来訪す、
 六日、午前、小雨、帝国教育会の速記を訂正す、○林昶より書状と原稿とを送来る、○書状を岩田僊太郎に送る、○谷内正順来訪す、○午后、英爾を日之出生命保険会社に遣はす、○帝国教育会の速記を訂正し了る、○藤井氏の原稿を閲読す、○二六新聞の画報に肖像と評論出づ、○夜、藤井健治郎来訪す、乃ち之に原稿を付与す、○姉崎正治より来状、

七日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、「修身教科書」三百部の奥附を六盟館に付与す、○箕作元八来談す、○姉崎正治より使

者来る、○岩橋遵成、「東洋倫理」の校正を携来る、○「六韜」を読む、○夜、「六韜」及び「兵術精髓」を読む、○速記を訂正す、○此日、吉田豊吉より七面鳥の肉を送来る、○姉崎正治より来状、○八日、午前、安達常正、伊藤裕より来状、○宮崎道三郎来訪す、○「六韜」及び「兵術精髓」を読む、○浦谷熊吉来談す、○飯沼松枝より来状、○書状を小杉熙に送る、○午后、「兵術精髓」を読む、○講義に大学に赴く、○岸田繁次郎来談す、○富田教純、東亜協会々員となる、○夜、「六韜」を読む、○速記を訂正す、○新井田次郎より速記を送来る、

九日、午前、晴天、岩谷英太郎より来状、○樋口勘次郎来訪す、○清子、植物園に赴く、○午后、伊藤裕より電報来る、○返電を伊藤裕に送る、○四時五分上野発、宇都宮市に赴く、車中「兵術精髓」及び「国民性十論」を読む、○夜、七時十八分宇都宮市着、安達常正及び伊藤裕来迎す、乃ち白木屋に投す、

十日、午前、晴天、「国民性十論」を読む、○師範学校に赴き、「人生と修養」を演述す、聴衆約三百余名、○午后、高等女学校に赴き、昼食を畢へ、「女子の本分」に就いて演述す、聴衆約六百余名、○四時五十八分出発、○車中「国民性十論」を読む、○夜、八時十分上野着、九時頃帰宅、○不在中鷹野勇雄来訪す、○有賀長雄、大学図書館、反省及び日本発明新聞社等より来状、○文部省より教科書二冊を送来る、

十一日、午前、晴天、紀元節、森良三郎来談す、○樋口勘治郎より来状、○浦谷熊吉、吉田熊次来訪す、○午后、揮毫、○宗教々育談話会に山上御殿に赴く、成瀬仁藏、麻生正藏、佐藤鐵太郎等と会見す、○夜、八時頃帰宅、○「師範修身」百部の奥附を岩田徳

太郎に付与す、此日、学習院女学部焼失、

十二日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○土宜法龍より来状、○帝国学士院より使者来る、○午后、岩橋遵成、田中伊藤次、浦谷熊吉、岸田繁次郎、中島利一郎、姉崎正治、貞金近松、山岸光宣、来訪す、○鷹野勇雄来る、乃ち之に原稿を付与す、○「女子修身」一千五百部の奥附を金港堂に付与す、○夜、帝国学士院に赴く、○文科大学、岩橋遵成及び同文館より来状、○此日、清国宣統帝溥儀（九歳）退位の上諭出づ、建国以来二百六十八年、「頁上部に「宣統三年十二月二十五日」と書込み」○厨川辰夫、東亜協会々員となる、

十三日、午前、晴天、伊藤裕より来状、○成瀬仁藏来訪す、○縫子を三井銀行に遣はす、○吉田熊次の使者、書状を携来る、○小石川郵便局より来状、○午后、「精神教育の必要」松陽新聞に出づ、○岸田繁次郎来訪す、乃ち東海銀行に赴き、鉄道公債を購入せしむ、○書幅二種を今泉丈助に送る、○書状を黒田長成及び同文館に送る、○「哲学字彙」を中島徳藏に送る、○岸田繁次郎再び来訪す、○宗教大学生菊池雄次郎来訪す、有故不_レ遇、○夜、杉山直樹来る、乃ち談話を速記せしむ、○大江文城より来状、○「現今の宗教々育問題」新愛知に出づ、○教科書会より来状、賦七絶一首。曰。四隣人定玉蟾明。寂々書樓夜幾更。大道究来胸臆遠。只聞何処古松声。

十四日、午前、田村喜作より来状、○学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○岸田繁次郎来る、○夜、教育家談話会に山上御殿に出づ、○杉山直樹より速記の前半を送来る、○「現今の宗教々育問題」新愛知に出づ、安達常正より来状、○此日、

「東亜の光」保証金を内務省に納む、

十五日、午前、雨天、速記を訂正す、○吉田雪子来談す、○午后、患咽喉か答児故休講、○杉山直樹より速記の後半を送れる、○三省堂より「辞林」を送れる。○市川温海より「救世大論」を送れる、○速記を訂正す、○日独協会より来状、○夜、荒浪市平来る、乃ち談話を筆記せしむ、○齋藤精輔より来状、○「現今の宗教々育問題」新愛知に出づ、○序文を岩橋遵成に送る、○速記を訂正す、

十六日、午前、晴天、浦谷熊吉来訪す、○床次々官の「私見」を読む、○午后、教科書会に文部省に赴く、○帰途学士会事務所に入り中島姉崎と会見す、○不在中岸田繁次郎来訪す、○「女子の本文」下野新聞に出づ、○夜、速記を訂正す、○河上肇の論文を読む、○此日、ニコライ大主教逝く、享年七十七、○袁世凱、南京参議院にて大頭領に選挙せらる、○不在中瀧精一来る、

十七日、午前、講義に高等師範に赴く、○途上浦谷熊吉に逢ふ、○姉崎正治より来状、○午后、齋藤愛子、岸田繁次郎来訪す、○文成社員来る、乃ち談話を筆記せしむ、○速記を訂正す、○英爾を姉崎宅に遣はす、○篠原良作、東亜協会々員となる、○「現今の宗教々育問題」新愛知に出づ、○夜、林源十郎より来状、○「国民教育と成立宗教」を活版所に送る、○河上肇の論文を読む、○加藤駒二より来状、○此頃 Paul Deussen より来状、○此日、宣光、桂五郎に招かれて赴く、

十八日、午前、晴天、土井亀之進、田中智学及び三省堂より来状、○英爾を姉崎宅に遣はす、○高橋正熊、林昶、補永茂助、山岸光宣、浦谷熊吉、伊藤吉之助来訪す、○書状を小中村清名及び下山

忠温に送る、○丁酉倫理会より来状、○午后、丹羽鑒来る、乃ち写真を付与す、○書状を岩口石藏、秋吉音治、野田寛、尾原亮太郎、芹沢政衛、佐藤金造及び村上農学校に送る、○藤井健治郎より来状、○書状を岩田僊太郎に送る、○夜、日本学会に赴く、来会者約二十余名、○姉崎正治より来状、○此日、兄弟会を吉田宅に催す、

十九日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○濱尾総長を訪ふ、○午后、「哲学字彙」式百部の奥附を丸善に付与す、○北原峯子、北原種忠の書状を携来る、○深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来りて会議を開く、○瀧田哲太郎来る、有故不遇、○淀野耀淳より書状と「医科論理学」を送れる、○夜、書状を兒島実徳及び小泉秀之助に送る、○文科大学より来状、○原稿を浦谷熊吉に送る、○此日、済生会へ寄附金として金式百拾九円参拾銭を大学会計課に納む、○医学博士大森治豊逝く、享年五十九、

二十日、午前、晴天、書状を戸村定楠に送る、○「女子の本文」下野新聞に出づ、○運動に小日向方面に出づ、○午后、縫子、すみれ会に吉田宅に出づ、○加藤駒二、姉崎正治来訪す、○書状を村上俊江に送る、○櫛引成太、来訪す、○理髪の爲めに外出す、○速記を訂正す、○書状を土井亀之進に送る、○夜、「陽明哲学」一百部の奥附を富山房に付与す、○速記を訂正す、○書状を川田正徴（ごう）に送る、○帝国学士院より来状、

廿一日、午前、晴天、速記を訂正す、○国学院より「日本書紀伝」(六)を送れる、○櫛引成太、岩田僊太郎来訪す、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○「中学修身」一千五百部及び「師範修身」五百部の奥附を金港堂に付与す、○「女子の本文」下野新聞に出づ、

○川田正激より来状、○夜、哲学会に赴く、

廿二日、午前、曇天、岩田僊太郎及び北原種忠より来状、○「実業修身」四百部の奥附を六盟館に付与す、○浦谷熊吉来談す、○日清印刷会社より使者来る、乃ち之に東亜の光口絵解題を付与す、

○書状を岩田僊太郎送る、「女子の本文」下野新聞に出づ、○午后、講義に大学に赴く、○夜、研究会に丁酉倫理会に赴く、○平田元吉より「心霊の秘密」を送来る、

廿三日、午前、晴天、神奈川県講習会に赴き、「国民道德と宗教」を講述す、○午后、三時頃帰宅、○姉崎正治来訪す、○灰降る、蓋し火山爆発して灰を吹き、風之を吹いて送来るならん。○夜、野田義夫夫妻来訪す、○「教界春秋」を草す、○此日、杉本源吉及び佐藤善治郎と神奈川に会見す、

廿四日、午前、晴天、神奈川県講習会に赴く、○県知事、長岡隆一郎（事務官）及び法学士川部佑吉と会見す、○午后、三時頃帰宅、○吉田熊次、櫛引成太、林政穂来訪す、○高柳豊三郎の訃報来る、○内務大臣原敬より招待状来る、○哲学会より「哲学雑誌」三百号記念号を送来る、○教科書会より書類来る、○夜、野田義夫々妻を招燕す、○書状を原敬に送る、

廿五日、午前、晴天、松浦一、秋山悟庵、林政穂、植村道次郎、原平吉、土肥竹次郎、岩崎孫八来訪す、○政教社及び佐藤金造より来状、○吉田熊次より使者来る、○「大日本統藏経」二套を受取る、○親族懇親会兼野田義夫歓迎会に上野精養軒に赴く、来会者拾八名、会食前一同撮影、○午后、三時頃帰宅、○不在中浦谷熊吉来訪す、○谷豊五郎、原稿を送来る、○「教界春秋」を草す、○櫛引成太来る、乃ち之に訂正教科書を付与す、○兒玉実徳より

来状、○夜、「教界春秋」を草し了りて之を日清印刷会社に送る、

○櫛引成太来訪す、此日、三教会同す、

廿六日、午前、晴天、村上俊江及び林政穂より来状、○講義に大学に赴く、○東海林辰三郎より来状、○午后、土屋新之助、岩橋遵成来訪す、○英爾をして高柳豊三郎の葬式に青山に会せしむ、○渡部董之介を文部省に訪ふ、○日比谷公園に赴く、○内務大臣原敬の招燕に官舎に赴く、長谷場純孝、福原録二郎亦来会す、○夜、九時過帰宅、○文部省より来状、○高柳文雄より礼状来る、○此日、三教再び会同し、決議する所あり、「頁下部に「三教の折衝」の新聞記事切抜貼付」

廿七日、午前、曇天、東海林辰三郎より翁飴壺箱を送来る、浦谷熊吉来る、○「六韜」を読む、○午后、日本弘道会より御礼の爲めに来る、○校正を三省堂に送る、○小川より清子の写真三枚を送来る、○「六韜」を読む、○縫子、吉田宅に赴く、○「現代の青年教育に対する注意」青年教育に出づ、○金子博愛より来状、○書状を帝国学士院に送る、○「如何にして今後の活社会に処すべきか」中学世界に出づ、○博品館に赴く、○夜、中島萬次郎の原稿を訂正す、○原稿を三省堂に送る、

廿八日、午前、雨天、学習院に赴く、○午后、文科の教授会に山上御殿に赴く、吉田熊次の学位論文満場可決、○宗教教育懇親会に上野精養軒に赴く、来会者式百有余名、○千家尊弘、柴田禮一、井深梶之助、原胤昭、西川光次郎、石橋甫、石川喜三郎、坪野平太郎、今井壽道、奥博愛、富田教純、服部勝衛、土冨法龍、綱島佳吉、成瀬仁藏、南條文雄、前田慧雲、宮川經輝、等と会見す、○夜、九時帰宅、○北村重敬より来状、○不在中吉田熊次及び水

島耕一郎来訪す、○此日、男爵高崎正風逝く、享年七十七、○岩口石藏より電報来る、

廿九日、午前、曇天、平塚唯鳩、野田義夫、堀重利、粒良市三郎及び金港堂并に博文館より来状、○土冨法龍及び嘉悦孝子、東亜教会々員となる、○博文館より為換を送来る、○午后、講義に大学に赴く、○土肥竹次郎より来状、○夜、伊藤吉之助来訪す、○目黒書店より「師範修身」四冊を送来る、○雨、○山川健次郎より「九州帝国大学一覽」を送来る、○「六韜」を読む、○此日、金港堂の「中学修身」検定済となる、

三月

一日、午前、雨天、神奈川県知事大島久満次より来状、○高崎正風の訃報来る、○土屋新之助来る、乃ち談話を筆記せしむ、○浦谷熊吉来談す、○速記を訂正す、○三省堂より原稿校正を送来る、○菊池雄次郎来訪す、有故不遇、○午后、速記を訂正す、○「東亜の光」(七の三)成る、「国民教育と成立宗教」東亜の光に出づ、○文成社の使者来る、○夜、速記を訂正す、○暁星学校より来状、二日、午前、晴天、池邊吉太郎の訃報来る、○講義に高等師範に赴く、○森良三郎来る、○午后、速記を訂正す、○白坂栄彦、御礼の為に来る、○水島耕一郎来訪す、○夜、速記を訂正す、○文科大学の学友会より来状、○「新編中学」拾参部の奥附を金港堂に付与す、○月明、○此日、国書刊行会より「明月記」及び「近世文芸叢書」(第十二)を送来る、○此頃、北京大動乱、三日、午前、曇天、岩崎孫八、山鹿誠之助、浦谷熊吉来訪す、○「中学修身」三百部の奥附を文学社に付与す、○午后、英爾をして男爵高崎正風の葬式に青山に会せしむ、○岸田蒔夫来訪す、○

William James, The Varieties of religious experience を読む、○北原峯子、菓子箱を携来る、○夜、引続き James を読む、○「師範修身」六百部の奥附を晩成処に付与す、○高崎正風会葬の礼状来る、○此日、天津も亦大動乱、○英国女子参政権論者大暴動をなす、

四日、午前、雨天、講義に大学に赴く、○鶴山保勝会より来状、○「現代青年に対する要求」弘道に出づ、○午后、辻本卯藏、小山鞆繪及び北原種忠宅書生某来訪す、○夜、文科大学より来状、○速記を訂正す、

五日、午前、晴天、速記を訂正す、○The North American Times (北米時事社) 社主隈元清より来状、○神田左京より論文 (An Examination of the Buddha's Atheism and Non-Ātmanism) を送来る、○齋藤精輔来る、乃ち之に「国民道徳講義」二冊を付与す、○岸田繁次郎来訪す、○「新編修身」九拾五部の奥附を金港堂に付与す、○縫子を東海銀行に遣はす、○午后、学習院評議會に赴く、○文科大学、帝国学士院及び阿部虎之助并に和辻哲郎より来状、○北原種忠夫妻来訪す、○府税地租割七拾五錢五厘、府税家屋税壹円六拾六錢、所得税参円参拾六錢合計五円七拾七錢五厘を区役所に納む、○夜、講義の準備をなす、

六日、午前、雨天、講義に学習院に赴く、○岩田僊太郎より来状、○午后、Kantgesellschaft より会員勧誘書来る、○藤井健治郎の原稿を閲読す、○「貝原益軒について」帝国教育に出づ、○夜、引続き藤井氏の原稿を訂正す、

七日、午前、晴天、相原熊太郎より来状、○平田知夫より賀状来る、○浦谷熊吉、勝水淳行来訪す、○「国民性十論」を読む、○文科

大学より来状、○午后、講義に大学に赴く、○不在中有馬祐政の使者来る、○小林正策より来状、○成功社より御礼を送来る、○「実業之日本社」より「自然と倫理」を送来る、○林勃爾来訪す、○英爾を岸田繁次郎及び有馬祐政宅に遣はす、○夜、藤井健治郎の原稿を訂正す、○学習院より来状、

八日、午前、晴天、秋山悟庵より来状、○藤井氏の原稿を訂正す、○吉岡哲太郎、加藤駒二、岸田繁次郎、宮本和吉来訪す、○「人生と修養」機関術協会々報に出づ、○午后、井口教授在職二十五年祝賀の為に金参門を森彦三に送る、○「勅語教本」七部部の奥附を岩田僊太郎に付与す、○書状を松井安三郎に送る、○三省堂より校正来る、○宮内幸太郎より写真を送来る、○美濃部達吉より「憲法講話」を送来る、○関口巳之来訪す、○夜、岸田繁次郎来る、○丹羽瀧男来る、乃ち談話を筆記せしむ、○「中学修身」貳百五拾五部の奥附を文学社に付与す、

九日、午前、井上泰岳来訪す、○James, The Varieties of religious experience を読む、○午后、手塚光貴、伊藤永止、浦谷熊吉、吉田雪子来訪す、○藤井健治郎来る、乃ち之に原稿を付与す、○小野鷲堂、谷本櫻谷、床次竹次郎、東亜協会々員となる、○岩田僊太郎、礪川校記念大会等より来状、○引続き、James を読む、○夜、阿部眞之助、来る、乃ち談話を筆記せしむ、○田中収吉より後藤新平の「青年訓」を、松村正一より「天籟松風」を送来る、○帝国教育会より来状、

十日、午前、晴天、岩橋遵成、中島泰藏、蠣瀬彦藏来訪す、○秋山悟庵来る、乃ち談話を筆記せしむ、○伊藤吉之助、原稿を携来る、○田中収吉より来状、○齋藤木来談す、○午后、「実業修身」

九百部を六盟館に、「中学修身」六百部の奥附を文学社に付与す、○縫子、児女を携へて日比谷公園に遊ばす、James, The Varieties of religious Experience を読む、○黒田侯爵の使者、書状を携来る、○夜、引続き、James を読む、○吉田熊次来談す、○此日、益之進、遠足に大宮公園に赴く、○長谷川泰逝く、享年七十一、○諾威人、アムンドセン大佐及び英国のスコット大佐が去年十二月十四日、を以て始めて南極に到達せるの報あり、○袁世凱大總統就任、十一日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○午后、木村善太郎、海老名彈正、山口宇江、高橋穰、伊藤永止、浦谷熊吉、窪倉主税助来訪す、○斯波淳六郎来訪す、乃ち晚餐を共にす、○夜、文科大学より来状、○「六韜」を読む、○浅田玄太郎より来状、○此日、不在中小池清次郎来訪す、

十二日、午前、晴天、書状を吉岡哲太郎、東海林辰三郎に、葉書を加藤弘之、丸山正彦、美濃部達吉、松村正一に送る、○「六韜」を読む、○審査報告書の訂正を円藤鎮に送る、○運動に出で吉田宅に寄る、○斯波淳六郎より書状と「国幣社一覽」を送来る、○午后、井上波野来談す、○「六韜」を読む、○「女子修身」二千部及び「中学修身」九百部の奥附を金港堂に付与す、○校正を三省堂に送る、○夜、帝国学士院に赴く、○此日、英爾をして古市公威母の葬式に会せしむ、

十三日、午前、曇天、吉岡哲太郎より来状、○在朝鮮清津島居龍藏より絵葉書来る、○「実業之日本社」より来状、○学習院に赴く、○午后、オクスフォード大学教授セイイス (Sayce) 氏の歓迎会に山上御殿に赴く、○英爾遠足に赤羽地方に赴く、○古市公威より礼状来る、○不在中金沢庄三郎来訪す、○太陽記者より筆記原稿

を送来る、○夜、三上參次母及び長谷川泰の計報来る、○杉山直記来る、乃ち談話を速記せしむ、○雪、

十四日、午前、晴天、岸田繁次郎より報告書を送来る、○「新編修身」八千五百部及び「女子修身」一千五百部の奥附を金港堂に付与す、

○黒田侯爵邸より来状、○E. Bälz, Zur Psychologie der Japaner を読む、○午后、講義に大学に赴く、○不在中横山三義、書状を携へて来訪す、○杉山直喜より速記の一部分を送来る、○速記を訂正す、○夜、北原種忠より来状、○伊藤吉之助、「東洋倫理」の原稿を携来る、○旭純榮より来状、○三省堂の原稿を訂正す、十五日、午前、曇天、深作安文、岸田繁次郎、浦谷熊吉、土肥竹次郎、齋藤木来訪す、○藤田逸男来る、乃ち談話を筆記せしむ、○土屋新之助来る、乃ち之に写真を付与す、○郵便局より来状、○午后、折田彦市来訪す、○黒田侯爵邸より使者来る、○三省堂の原稿を訂正す、○杉山直喜より速記の後半を送来る、○丹羽瀧男より速記を送来る、○夜、三省堂の原稿を訂正す、○黒田侯爵の使者来る、乃ち之に草稿を付与す、

十六日、午前、曇天、黒田侯爵より来状、○高等師範に赴き、試験を行ふ、○伊国皇帝去る十四日凶漢の為に射撃せらる、然れども負傷せずとの報あり、○午后、三省堂の原稿を訂正す、○岸田繁次郎、蓮沼門三、来訪す、○文成社員来る、乃ち談話を筆記せしむ、○土橋八千太、齋藤木より来状、○高等師範より答案を送来る、○新社より原稿を送来る、○夜、速記を訂正す、○此日、英爾をして三上參次母の葬式に会せしむ、○「民国臨時約法」発表せらる、

十七日、午前、曇天、深作安文、安河内健次より来状、○岸田繁次

郎、関宇一郎、浦谷熊吉、小金沢久吉来訪す、○岸田繁次郎をして村松喜太郎と交渉せしむ、○午后、英爾をして長谷川泰の葬式に会せしむ、○藤井健治郎より来状、○書状を岩田僊太郎に送る、○James, The Varieties of religious Experience を読む、○「中学修身」五百部及び「新編修身」二千五百部の奥附を金港堂に付与す、○夜、James を読む、○佐々木信綱より来状、

十八日、午前、半晴、黒田侯爵邸及び良明堂より来状、○講義に大学に赴く、○午后、宮崎彦磨、上田萬年、西晋一郎来訪す、○齋藤木及び実業之日本社員来る、有故不遇、○速記を訂正す、○齋藤木より来状、○祝辞を修養団に送る、○夜、速記を訂正す、○伊藤吉之助来訪す、○齋藤木より来状、○三上義夫より書状と論文とを送来る、○此日、上田萬年、文科大学長となる、

十九日、午前、晴天、在萊府若守義孝より来状、○在横須賀大野太衛より来状、○速記を訂正す、○博多橋口町井上総本店より大達磨を送来る、○浦谷熊吉、土肥竹次郎来訪す、○日本硫酸肥料会社に式拾株を申込む、○午后、藤原楚水来る、乃ち談話を筆記せしむ、○加藤玄智及び齋藤志げ子来訪す、○速記を訂正す、○「女子修身」一千五百部の奥附を金港堂に付与す、○夜、黒田侯爵邸及び浦谷熊吉より来状、○「東亜の光」原稿を印刷所に送る、○同文館の速記を訂正す、○文科大学、高等師範、黒田侯爵邸及び土肥竹次郎より来状、

二十日、午前、晴天、井上健兒より来状、○速記を訂正す、○学習院女学部に赴く、○午后、速記を訂正して之を同文館に送る、○黒田侯爵邸及び文科大学より来状、○「師範修身」六百部及び「勅語述義」参百部の奥附を晩成処に付与す、○清子と正勝とを拉し

て巢鴨に遊ぶ、○辻本卯藏より来状、○夜、高等師範生の答案を讀む、○此日、重徳来助来訪す、○「讀書の趣味」読売新聞読書号に出づ、

廿一日、午前、晴天、春季皇靈祭、太田秀穂、大村西崖、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○高等師範生の答案を讀む、○午后、答案を讀む、○井上波野、全すゑ、林勃爾来訪す、○東亜協会開催文学研究会に山上御殿に赴く、来会者は森林太郎、内田貢、上田萬年、芳賀矢一、津田青楓、山岸光宣、大津康、齋藤勇等二十余名、○不在中赤司繁太郎来訪す、○黒田侯爵邸、藤原喜一及び高楠順次郎等より来状、○此日、洲崎大火、○井上すゑ齋藤儀八の書状を携来る、

廿二日、午前、晴天、蓮沼門三より来状、○田中伊藤次、赤司繁太郎来訪す、○答案を讀了し、点数を高等師範に送る、○Emil Schroederより来状、○実業之日本社の原稿を訂正す、○枝元長夫より来状、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○三教徒懇親会の写真成る、○書状をEmil Schroederに送る、○藤村作及び暁星学校より来状、○英爾を遣はして日清印刷会に写真を送る、○原稿を訂正す、○夜、Emil Schroederの招燕に其邸宅に赴く、ゲッテンゲン大学教授オットー氏と会談す、姉崎正治亦来る、

廿三日、午前、晴天、浦谷熊吉、伊藤吉之助、宮本和吉、成瀬仁藏、大槻快尊来訪す、○縫子、姉崎宅に赴く、○原稿を訂正し、之を博文館に送る、○午后、吉田豊吉、東敬治、辻本卯藏、眞崎誠、宮本和吉来訪す、○校正を三省堂の使者に付与す、○川崎克、下田歌子の贈物を携来る、○書状を安河内健次に送る、○三省堂より校正来る、○櫻井くに子、来訪す、○夜、校正を三省堂に送る、

廿四日、午前、曇天、三省堂より校正来る、○山岸光宣、大島正徳、豊田臻、三上義夫、補永茂助、来訪す、○弘道館より「清朝衰亡論」を送来る、○校正をなす、○午后、小尾範治来訪す、○校正を三省堂に送る、○書状を黒田侯爵邸及び旭純栄に送る、○三省堂の原稿を訂正す、○夜、原稿を三省堂に送る、

廿五日、午前、「教界春秋」を草す、○宮本和吉、伊藤吉之助、吉田雪子来訪す、○英爾を大学に遣す、○三省堂より校正来る、○印刷所より「東亜の光」口絵を送来る、○午后、所得税四拾貳円七錢、府税市税七円七拾五錢、合計四拾九円八拾貳錢を区役所に納む、○大日本統藏經二套を受取る、○豊田臻、岩橋遵成、九鬼周造来訪す、○「中学修身」一千五百拾部の奥附を文学社に付与す、○書状を黒田侯爵邸に送る、○小林正策来談す、○運動に小日向に出づ、○「教界春秋」を草す、○文科大学より来状、○夜、「教界春秋」を草し了りて之を印刷所に送る、

廿六日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○英爾を大学に遣はす、○縫子、吉田宅に赴く、○児輩、護国寺に遊ぶ、○校正を三省堂に送る、○小川久太郎来る、有故不遇、○黒田芳生、東亜協会々員となる、○国書刊行会より「史籍雜纂」(四及五)一冊を送来る、○午后、枝元長夫、宮本和吉、桑木嚴翼、浦谷熊吉来訪す、○「女子修身」二千部の奥附を金港堂に付与す、○英爾を史料編纂掛に遣はす、○田中義成より来状、○校正をなす、○宣光、暁星学校より二等褒状を受く、○夜、「東亜の光」口絵解題を印刷所に送る、○校正を三省堂に送る、○速記を訂正す、○三省堂より校正来る、○此日、本多庸一逝く、享年六十五、

廿七日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、

る、○大学に赴き、Rudolf Ottoと会見す、○午后、教授会に赴く、
○東敬治、東林寺及び修養団島田支部より来状、○有馬祐政来訪
す、○夜、哲学会に山上御殿に赴く、来会者約三十余名、○三省
堂より来状、○三上義夫、東亜協会々員となる、○此日、お末来
泊す、

廿八日、午前、晴天、桜花半開、○根岸福弥より来状、○三省堂よ
り校正来る、○校正を三省堂に送る、○浦谷熊吉、大島正徳来訪す、
○午后、臨時哲学会に山上御殿に赴く、Prof. Dr. Rudolf Otto「進
化論と宗教」に就いて一場の講演をなす、独逸大使来聴す、来会
者約六十名、○夜、会食、来会者約三十名、○安河内健次より電
報来る、○元良勇次郎及び豊田臻より来状、○此日、国語調査会
及び井上総本店より来状、○「勅語衍義」一千部の奥附を六合館
に付与す、

廿九日、午前、小雨、岩橋遵成、富田俊夫来訪す、○枝元長夫来る、
乃ち談話を筆記せしむ、○英爾を浦谷宅に遣はす、○益之進、尋
常小学一年を卒業す、○電報を安河内健次に送る、○午后、校正
を三省堂に送る、○尾上八郎来訪す、○書状を有馬祐政に送る、
○夜、校正を三省堂に送る、○早川純三郎より来状、○速記を訂
正す、○此頃、済生会寄附金として金参百〇四円貳拾銭を払込む、
○此日、亡兄侃齋七回忌法要を営む、

三十日、午前、半晴、有馬祐政より原稿を送来る、○「師範修身」
六百部の奥附を晩成処に付与す、○加藤駒二、小倉清三郎来訪す、
○岡部長より菅公の書（巻物）を送来る、○縫子、清子を拉して
成美宅に赴く、○午后、藺田孝吉、大野太衛来訪す、○校正を三
省堂に送る、○原稿を有馬祐政に送る、○書状を津田青楓、吉田

久兵衛、井上清助及び黒田長成に送る、○三省堂より校正来る、
○夜、東亜協会勧誘書拾九通を発送す、○博物館より案内状来る、
卅一日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○在伯林春山作樹より
絵葉書来る、○浦谷熊吉、寺田精一、根岸福弥、小野秀雄、谷内
正順来訪す、○「中学修身」式百部の奥附を文学社に付与す、○
Emil Schneiderより来状、○吉田宅より使者来る、○縫子、児
輩と共に花見の為に外出す、○志沢光郎より「成全大意」を送来
る、○「東亜の光」（七の四）成る、○「道德の権威」東亜の光
に出づ、○黒田侯爵邸より使者来る、○文成社より報酬を送来る、
○午后、Rudolf Ottoを訪ふ、赤司繁太郎亦来る、○小林一郎よ
り来状、○夜、校正をなす、○此頃、花満開、

四月

一日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、
○伊藤吉之助、中島泰藏、東敬治来訪す、○英爾を音楽学校分教
場に遣はす、○午后「女子修身」四百部の奥附を金港堂に付与す、
○厚見純明、石原憲光、曹洞宗務院の書状を携来る、○岸田繁次郎、
林訥、来訪す、○宮井虎三郎より来状、○妻女等相携へて植物園
に遊ぶ、○英爾を東海銀行に遣はす、○「中学修身」五百五拾部
の奥附を文学社に付与す、○速記を訂正す、○常陸帯四冊、南山
史三冊、大勢三転考三冊、国史纂論十冊、皇朝史略正統八冊を購
入す、○夜、志田義秀より「百譜詳釈」を送来る、○桑木或雄よ
り論文「物理学上認識の問題」と書状とを送来る、○高等師範よ
り来状、○枝元長夫より筆記を送来る、○筆記を訂正す、
二日、午前、晴天、硫酸会社より来状、○成瀬仁藏来訪す、○英爾
を文部省及び三井銀行等に遣はす、○葉書を桑木或雄及び田中収

吉に送る、○縫子、益之進を拉して飛鳥山に遊ぶ、○午后、北澤哲、浦谷熊吉来訪す、○岡田和子、鏗節を携来る、○古川黄一、孫子諺義を携来る、○文部省より来状、○伯爵松浦厚、東亜協会々員となる、○運動に小日向に出づ、○不在中補永茂助来訪す、○文科大学より高橋里美の報告を送来る、○夜、書状を早川純三郎に送る、○東京社の筆記を訂正す、○此日、陸相石本新六逝く、享年五十六、

三日、午前、雨天、補永茂助、有本芳水来訪す、○三省堂より校正来る、○小野田亮正より来状、○原稿を婦人画報社に送る、○「人生と修養」機関術協会々報に出づ、○午后、杉山直記来る、乃ち談話を速記せしむ、齋藤基次郎より母の一周忌の贈物を送来る、○速記を訂正す、○夜、校正を三省堂に送る、

四日、午前、晴天、藤井健治郎、若木貞一來訪す、○石本新六の計報来る、○午后、杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○岩口石藏来訪す、○小柳司氣太来る、乃ち共に会食す、○高等師範より報酬を送来る、○校正を三省堂に送る、○千葉鑛藏より「輓近倫理思潮の傾向」を送来る、○三省堂より校正来る、○「儒教の宗教観」新人に出づ、○夜、速記を訂正す、○校正を三省堂に送る、○此日、深作安文、文科大学助教授となる、

五日、午前、晴天、速記を訂正す、○澁澤栄一より来状、○有馬祐政、齋藤勇、小島兵太郎、大槻喬、深作安文、岩田僊太郎来訪す、○小野田亮正来る、乃ち談話を筆記せしむ、○英爾を三井銀行に遣はす、○笹崎神苑会より来状、○午后、校正を三省堂に送る、○英爾をして陸相石本新六の葬式に会せしむ、○児輩を拉して飛鳥山に遊ぶ、○「中学修身」六百部の奥附を金港堂に付与す、○不

在中補永茂助来訪す、○宗教局長斯波淳六郎、東亜協会々員となる、○「続日本後紀纂話」を購入す、○速記を訂正す、○富田春山より来状、○三省堂より校正来る、○夜、校正を三省堂に送る、○速記を訂正す、○大学より「大日本古文書」を送来る、○帝国学士院より来状、○此日、男爵上原勇作、陸相となる、

六日、午前、雨天、森良三郎、浦谷熊吉来談す、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○史料編纂掛に赴く、○三上廉平、千家尊弘、東亜協会々員となる、○午后、杉山直喜、来る、乃ち談話を速記せしむ、○加藤駒二より来状、○「女子修身」五百部の奥附を金港堂に付与す、○電話使用料拾六円五拾銭を郵便局に納む、○岡部長より使者来る、乃ち之に書類を付与す、○書状を藤井健治郎及び若木貞一に送る、○星野恒より使者を遣はし、書状を送来る、○校正をなす、○夜、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○速記を訂正す、○此日、松浦伯爵より来状、○浅倉屋より「大日本史論叢」を送来る、○金港堂「中学修身」採用校数八十、文学社「中学修身」採用校数十九、合計九十九、

七日、午前、晴天、厨川辰夫より「近代文学十講」を送来る、○田中義能、東海林辰三郎、中島萬次郎、伊藤吉之助、遠藤隆吉来訪す、○杉山直喜より速記を送来る、○午后、小柳司氣太より来状、○今岡信一良、春日主税、羽溪了諦、千家福麿、石川貞吉、東亜協会々員となる、○岸田繁次郎来談す、○速記を訂正す、○夜、修養団第二部に赴き、一場の演説をなす、○「師範修身」四百部及び「勅語述義」三百部の奥附を晩成処に付与す、○尾原亮太郎及び藤原健治郎より来状、

八日、午前、曇天、書状を東敬治及び根井久吾に送る、○勸誘書を

笹本戒浄、五弓安五郎、谷口豊五郎に送る、○速記を訂正す、○午后、速記を訂正す、○岩橋遵成、曹洞宗青年会員二名、修養団員二名、辻本卯藏来訪す、○三省堂より校正来る、○蓮沼門三より来状、○夜、速記を訂正す、○「新編修身」七千五百部の奥附を金港堂に付与す、

九日、午前、曇天、教科書会、及び若木貞一より来状、○瀧村斐男父の訃報来る、○英爾を文部省及び三井銀行に遣はず、○速記を訂正す、○午后、浦谷熊吉来談す、○英爾を遣はして常山文集、修養、国民道徳の根柢、倫理と人生を購入す、○春枝、音楽学校分教場に入學す、○教科書会より来状、○校正を三省堂に送る、○「日本民族理想の花」やまと新聞に出づ、○校正をなす、○岩口石藏より絵葉書来る、○夜、校正を三省堂に送る、

十日、午前、晴天、学習院に赴く、○不在中阪元三郎来訪す、○「精力養成には如何なる工夫を要するか」実業の日本に出づ、○午后、速記を訂正す、○杉山直喜来る、乃ち談話を筆記せしむ、○三浦平一来る、○英爾をして瀧村斐男父の葬式に会せしむ、○夜、速記を訂正す、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○小雨、

十一日、午前、半晴、鹿田静七より王闢運註「墨子」及び陳龍正纂「陽明先生要書」を送来る、○校書を三省堂に送る、○文科大学より来状、○博文館より奥附の小包を送来る、○校正をなす、○金港堂より「新編修身」を送来る、○姉崎正治来訪す、○秋本雙一より絵葉書来る、○安河内健次より来状、○午后、澁澤栄一の別邸に飛鳥山に赴く、ギューリック、深田和民、姉崎正治、成瀬仁藏、上田敏、来会す、○夜、十時過帰宅、○木村善太郎、井上

健次、鈴木貞太郎等より来状、○「国民道徳叢書」第三卷の奥附一千八百枚を博文館に送る、

十二日、午前、晴天、杉山直喜より速記を送来る、○在業府小林照朗より絵葉書来る、○Berliner Tagblatt社より来状、○金光教より「将来の宗教」を送来る、○宮本貞美、永井萬太郎、小野秀雄、手塚光貴来訪す、○田中智学より来状、○速記を訂正す、○「至誠心を養成せよ」日本青年に出づ、○午后、今関壽磨来訪す、有故不遇、○速記を訂正す、○浦谷熊吉来談す、○三省堂より校正来る、○夜、校正を三省堂に送る、○日本弘道会及び東亜協会会計部より来状、

十三日、午前、晴天、「現今の宗教問題と国民道徳」教育学術界に出づ、○岸田繁次郎、石橋臥波来訪す、○谷口豊五郎、東亜協会々員となる、○小林照朗より Record of the Proceedings of the First Universal Races Congress 及び婦人運動次第書を送来る、○午后、女子大学卒業式に赴き、一場の演説をなす、畢りて撮影す、○夜、陽明学会に赴き、「陽明学の系統上より見たる東澤瀉先生」を演述す、○九時頃帰宅、○「中学修身」四百部及び「実業修身」三百部の奥附を文学社に付与す、○博文館より来状、

十四日、午前、晴天、森良三郎、岸田繁次郎来談す、○藤井玄藤井玄瀧、大谷光瑞の書状を携来る、○「新編修身」三千部、「中学修身」百部、「女子修身」一千部の奥附を金港堂に付与す、○速記を訂正す、○午后、東敬治及び晩成処より来状、○奥附を博文館に送る、○原稿を整理す、○富田俊夫来る、○書状を藤井健治郎に送る、○縫子、児輩を拉して荒川堤に遊ぶ、○「哲学と倫理」六大新報に出づ、○夜、研究、

十五日、午前、晴天、田中義能より書状と「本居宣長之哲学」を送来る、
 ○庭園の桜花全盛、○講義に大学に赴く、○上田萬年を学長室に
 訪ふ、○午后、岩橋遵成、谷内正順、北原峯子、浦谷熊吉、深作
 安文、岸田繁次郎来訪す、○文科大学より来状、○三省堂より校
 正来る、○英爾を遣はして金式百五拾円を第一銀行に払込む、是
 れ硫安肥料会社の為なり、○富永置三、東亜協会々員となる、○
 原稿を整理す、○夜、宮崎彦磨来る、乃ち之に原稿を付与す、○
 近火あり、

十六日、午前、晴天、清水精一郎より書状と「七里和上言行録」を
 送来る、○大鳥居弄三、坪内雄藏の紹介状を携来る、○成瀬仁藏、
 中村寛猛来訪す、○校正を三省堂に送る、○「社会主義神髓」を
 読む、○午后、河上肇の「進化論と社会主義」を読む、○杉山直
 喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○岸田繁次郎、大島正徳来訪す、
 ○貞金近松より来状、○法学士榊原毛乃の訃報来る、○夜、文科
 大学より来状、○Paulsen, System der Ethikを読む、

十七日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に
 赴く、○西本願寺法主大谷光瑞伯の招燕に華族会館に赴く、○長
 谷場純孝、久保田讓、江原素六、鎌田栄吉、高田早苗、渡辺哲信
 等と会見す、○夜、九時頃帰宅、○不在中花田仲之助来訪す、○
 肝付兼行より来状、○杉山直喜より速記を送来る、○「新編修身」
 五百部の奥附を金港堂に付与す、○「日本民族理想の花」鹿兒島
 実業新聞に出づ、○文部省より書類来る、

十八日、午前、晴天、書状を山岸光宣及び尾原亮太郎に送る、○日
 本学会通知書十余通を発送す、○杉山直喜より速記の残部を送来
 る、○伊藤吉之助、浦谷熊吉来訪す、○速記を訂正す、○小川久

太郎来る、有故不遇、○午后、講義に大学に赴く、○英爾を浦谷
 及び岸田宅に遣はす、○豊田臻より来状、○夜、穂積陳重退職の
 為の晚餐会に山上御殿に赴く、○九時頃帰宅、○文科大学及び
 孔子祭典会より来状、○此日、「新編修身」三千部、「女子修身」
 一千三百部の奥附を金港堂に付与す、○国語調査会より「櫻
 田義拳録」三巻を送来る、

十九日、午前、晴天、山岸光宣及び佐々木信香より来状、○浦谷熊
 吉、谷内正順、渡邊政吉来訪す、○小川久太郎亦来談す、○「実
 業修身」式百部の奥附を六盟館に付与す、○速記を訂正す、○午
 后、登張信一郎より「独和大辞典」を送来る、○曾根松次郎来訪
 す、○速記を訂正す、○夜、原稿を活版所に送る、○此日、雷雨、
 二十日、午前、晴天、北原種忠、筑前学友会及び大日本文明協会よ
 り来状、○講義に高等師範に赴く、○不在中大塚保治来訪す、○
 三省堂より校正来る、○午后、谷内正順、大塚保治、遠藤夏子来
 訪す、○三省堂より校正来る、○谷内正順の原稿を訂正す、○夜、
 日本学会に第二学生集会所に赴く、来会者約四十余名、頗る盛会
 なりき、○三好梧一より来状、○此日、貞金近松より料理を送来る、
 廿一日、午前、晴天、浦谷熊吉、山岸光宣来訪す、○校正を三省堂
 に送る、○「続日本後紀纂話」を購入す、○午后、勧誘書を大村
 西崖、丸山正彦、及び中島半次郎に送る、○丁酉倫理会に学士会
 事務所に赴く、○夜、九時頃帰宅、○日本弘道会より来状、

廿二日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○吉田豊吉来訪す、○不
 在中伊藤吉之助、藤井專隨来訪す、○午后、根岸和一郎、永澤信
 之助、藤井專隨来訪す、○安田勝藏来る、乃ち談話を速記せしむ、
 ○富士川游より「日本疾病史」を送来る、○夜、書状を白鳥庫吉

及び小柳司氣太に送る、○「国民之教養」の序を草す、

廿三日、午前、曇天、大月隆仗、「教育的美学」(中)を携来る、○深作淺次郎より来状、○浦谷熊吉、法貴慶次郎来訪す、○「東亜の光」口絵解題を印刷所に送る、○在独乙朝永三十郎、友枝高彦、小林照朗より来状、○西沢之助より「春風秋雨卅四年」を送来る、○午后、宮下今朝松、北原種忠の使者として来る、乃ち之に序文を付与す、○三省堂より校正来る、○伊藤吉之助来訪す、○明治教育社より速記を送来る、○速記を訂正す、○ Paulsen 及び Murhead の倫理学を読む、○夜、原稿を曾根松太郎に送る、○書状を榊原恭介に送る、○校正を三省堂に送る、○此日、宮内省より招待状来る、○縫子姉崎宅に招燕に赴く、

廿四日、午前、雨天、学習院に赴く、○午后、山上御殿に赴く、○博文館より「参考東洋倫理」を送来る、○夜、「教界春秋」を草す、○岸田繁次郎及び小柳司氣太より来状、○丸山正彦及び津田青楓、東亜協会々員となる、○此日、宣光、甲州地方に遠足す、○正勝、咽喉を患ふ、

廿五日、午前、晴天、浦谷熊吉来談す、○久保清一、帝国図書館の使者として来る、○「教界春秋」を草し了りて之を印刷所に送る、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○書状を法貴慶次郎に送る、○常山文集を読む、○午后、講義に大学に赴く、○大日本統藏經二套を受取る、○古事類苑(居処部)を送来る、○文科大学より来状、○大学より「大日本古文書」を送来る、○中村寛猛来る、○常山文集を読む、○夜、引続き常山文集を読む、○安井錦花より来状、○速記を訂正す、○書状を文科大学に送る、○此日、正勝軽快、

廿日、午前、晴天、石上弥助、玉利喜造、深作安文、永井萬太郎来訪す、○速記を訂正す、○午后、引続き速記を訂正す、○「実業修身」一百部「女子修身」二百部の奥附を金港堂に付与す、○英爾を中央金庫に遣はす、○花田伸之助来訪す、○孔子祭典会より来状、○強風、○ Henri Bergson, Creative Evolution を読む、○夜、雨、○引続き Bergson を読む、

廿七日、午前、晴天、岸田繁次郎来訪す、○揮毫、○牛込より汽車に駕して青梅町に赴く、○午后、西多摩郡教育会に小学校に赴き、「時勢の変遷と教員の覚悟」を演述す、安藤源治郎(郡長)下田伊左衛門、今井庫太郎、指田茂十郎、首藤嘉十郎、笠川彬、河野末吉(小学校長)等と会見す、○夜、九時頃帰宅、○孔子祭典会、興信社及び乙竹岩造より来状、○「日本の長所と女性」婦人画報に出づ、

廿八日、午前、三省堂より校正来る、○大槻隆仗、相馬退藏、糸賀正経、黒川眞道来訪す、○乙竹岩造より「穎才教育」を送来る、○「師範修身」一百部の奥附を金港堂に付与す、○午后、哲学会に赴く、○同文館より来状、○不在中岸田夫妻来る、○金尾文淵堂より「尊皇愛国論」を送来る、○夜、Bergson, Creative Evolution を読む、○此日、孔子祭典会を開催す、

廿九日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○講義に大学に赴く、○土方寧を学長に訪ふ、○午后、文科大学より来状、○岩橋遵成、浦谷熊吉、井上清助、中村茂、牧瀬五二郎来訪す、○校正をなす、○萬朝の一記者来る、乃ち之に書幅を付与す、○夜、藪田孝吉、今井時郎、山田敏一來訪す、○校正をなす、○吉田熊次、「我国民道徳と宗教との關係」を携来る、○吉田宅近火、○英爾を遣は

して酒式升を吉田宅に送る、

三十日、午前、雨天、文藝協会より来状、○校正を三省に送る、○森良三郎来る、○書状を三好梧一、安井錦花に、葉書を富士川游、清水精一郎に送る、○速記を訂正す、○午后、書状を水道橋稅務所、平田平三、土橋八千太、肝付兼行及び岩谷英太郎に送る、○半晴、○英爾を岸田宅に遣はす、○夜、上田萬年、山田より電報を送る、○山鹿素行の兵書を平田平三に送る、○岸田繁次郎来談す、○三上參次より来状、○神社局長法学博士井上友一、東亜協会々員となる、

五月

一日、午前、晴天、北原種忠より来状、○三省堂より校正来る、○学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○金五円を丹羽敬三祝賀会に送る、○枝元長夫、より来状、○婦人画報社より御礼を送る、○「東亜の光」(七の五)成る、○「社会主義を論じて河上法学士に答ふ」東亜の光に出づ、○夜、哲学科懇親会に山上御殿に赴く、○十時頃帰宅、○此日、法貴慶次郎より来状、○文科大学より論文を送る、○女学部より恩賜記念品を受取る、○「教育と宗教」大陽に出づ、○岸田繁次郎を鶴澤總明宅に遣はす、

二日、午前、半晴、校正を三省堂に送る、○書状を糸賀正経に送る、○岸田繁次郎、浦谷熊吉来訪す、○隣家村松喜太郎への借地は、本年三月末日にて期限終はる、然れども情状を酌量して更に又一年間即ち来年三月末日迄貸借許可の旨、岸田繁次郎を遣はして村松喜太郎へ申渡さしむ、○午后、安井錦花より来状、○講義に大学に赴く、○羽田久遠より来状、○夜、尾原亮太郎より来状、○黒田侯爵邸より書状と内野葛五袋とを送る、○書状を黒田侯爵

に送る、○吉田修夫より書状と「観音の救済」とを送る、○此日、「新編修身」六百部及び「女子修身」六百部の奥附を金港堂に付与す、

三日、午前、曇天、三省堂より校正来る、○黒田侯爵邸より来状、○岩橋遵成、坂井正義、伊藤吉之助及び裏の巡查名来訪す、○午后、東亜協会入会勧誘書を千秋季隆、時野谷常三郎、高橋斯文、徳川義親、大谷光瑞、鳥山喜一、名和彦作、高津敏三郎、竹山成美、田村安太郎、谷津直秀、戸部十二郎、近重眞澄、外山高一、高木尚介、中村茂、田中西熊、田中秀央、多田淳良、柳田国男の二十名に送る、○平田平三及び丹波下山祝賀会より来状、○「師範修身」式百部の奥附を晩成処に送る、○青山延敏来訪す、○床屋に之き、尋いで池袋村、長崎村及び雑司ヶ谷に遊ぶ、○夜、河合秋平、森良三郎来訪す、○「勅語要義」参百部「戊申詔書述義」参百部の奥附を晩成処に付与す、○此日、相馬退藏来る、乃ち談話を筆記せしむ、○英爾を東海銀行に遣はす、

四日、午前、雨天、森良三郎来談す、○講義に高等師範に赴く、○不在中岸田繁次郎来りて曰く、去る二日に委託されたる借地期限の事は、本日村松喜太郎に申渡せりと、○石川利之より書状と「三神代記述義」とを送来れり、○午后、晴天、佐々木信綱より来状、○佐々木信綱より「金鈴遺響」を送る、○黒田長成より来状、○揮毫、○校正を三省堂に送る、○夜、Sidney Lewis Gulickの書状を読み、之を成瀬仁藏に送る、○校正を三省堂に送る、○書状を黒田侯爵に送る、

五日、午前、晴天、八時五十分上野発、茨城県に向ふ、○車中千葉鑽藏に逢ふ、○午后、零時四十分水戸着、若槻道隆来迎ふ、○一

時三十七分太田町着、中学校に於て郡教育会の為に「時勢の変遷」に対する教育者の覚悟」を演説す、聴衆約四百名、○都澤惇（工業学校長）豊田幸延、西野治郎兵衛、櫻村才介、古茂田敬太郎、武弓作之助、(町長) 小林彦右衛門、竹内幸太郎、井坂五郎、羽田久遠(郡長) 等と会見す、○午后、五時太田町発、○夜、十一時頃帰宅、○不在中、村上俊江、橋本清之亮、高橋穰、大類伸、辻本卯藏来訪す、○三省堂より校正来る、○帝国学士院及び黒田侯爵邸より来状、○「勅語教本」五百部の奥附を晚成処に付与す、六日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○黒田侯爵より来状、○講義に大学に赴く、○午后、文科大学及び飯沼松枝子より来状、○武内紫明、一戸隆次郎、浦谷熊吉、末澤庸太、宮崎熊三郎、明石半十郎、高橋穰、原田理一來訪す、○縫子、齋藤基次郎宅に赴く、○夜、有馬祐政来訪す、七日、午前、晴天、黒田侯爵より来状、○森良三郎、岸田繁次郎、蔭山義三郎来訪す、○校正を三省堂に送る、○午后、校正を三省堂に送る、○再び校正を三省堂に送る、○書状を黒田侯爵に送る、○三省堂より校正来る、○夜、書状を黒田侯爵に送る、○沼田夢川来る、乃ち談話を筆記せしむ、○牧瀬五一郎来訪す、○三省堂より校正来る、○吉田雪子来る、八日、午前、晴天、書状を黒田侯爵に送る、○学習院に赴く、○午後、教授会に山上御殿に赴く、○藤井健治郎、由布惟義及び漢文学会并に一徳会より来状、○「女子修身」三百部及び「農業修身」一百部の奥附を金港堂に付与す、○姉崎益子来訪す、○夜、高橋穰来訪す、○黒田侯爵の使者、書状を携来る、○学生の論文を讀む、○書状を黒田侯爵に送る、○強風、○雨、

九日、午前、曇天、澁澤榮一より来状、○浦谷熊吉来談す、○校正を三省堂に送る、○修養団より来状、○大学より豊田藤弥の論文を送来る、○午后、高橋穰、高津半造来訪す、○校正を三省堂に送る、○三省堂より校正来る、○講義に大学に赴く、○不在中森川鉞太郎来る、○校正をなす、○夜、校正を三省堂に送る、○学生論文を讀む、

十日、午前、晴天、近藤儀三郎、大類伸、林某来訪す、○黒田侯爵邸及び前川清より来状、○森良三郎来談す、○午后、帝国教育会に赴き、「支那の革命と教育者の覚悟」を演説す、○坪野平太郎を高商に訪ふ、○実業之日本社より御礼の為に来る、○三省堂より校正来る、○成瀬仁藏より来状、○校正を三省堂に送る、○甫森謹吾、多田房之輔、宮崎熊三郎と帝国教育会に会見す、○省軒詩稿二冊省軒文稿四冊を購入す、○夜、文科大学より来状、○省軒詩文稿を讀む、○黒田侯爵邸より来状、

十一日、午前、晴天、硫酸会社より来状、○文学社員、報告を携来る、○大類伸より絵葉書来る、○浦谷熊吉来談す、○千代を東海銀行に遣はす、○勧誘書を原田理一、中川謙二郎、大類伸に送る、○午后、大島正徳来訪す、○勧誘書を林詔、平塚唯鳩、一戸隆次郎、佐藤金造に送る、○佐々木信綱より原稿を送来る、○文科大学より陳大齊の論文を送来る、○「国家と個人」教育界に出づ、○学生の論文を讀む、○夜、大学出身者懇親会に築地精養軒に赴く、来会者一百数十名、大屋八十八、石田悟雄、中村寅松、堤寛、澁江小摩策、木幡忠、白井弘、大村桂巖、春日重泰、湯目補隆、金子幹太、田村安太郎、秋田實、森田鏡三郎、加藤秀一、岡上梁、長沢市藏、阿部虎之助、生田徳太郎、新保寅次、笹倉新治、等と

会見す、○不在中志水代次郎来訪す、○有賀長雄より書類を送る、

十二日、午前、曇天、原田理一より来状、○牧瀬五一郎、関宇一郎、浦谷熊吉来訪す、○午后、東亜協会に赴く、聴衆満堂溢る、が如し、○夜、評議員会を山上御殿に開く、○十時頃帰宅、○雨、○此日、「女子修身」三百五拾部の奥附を金港堂に付与す、

十三日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○元良勇次郎宅を訪ふ、○午后、平塚唯鳩来訪す、○土屋新之助来りて書齋を撮影す、○大塚文男来る、有故不遇、○丸井圭次郎来訪す、○澁沢邸に飛鳥山に赴く、○夜、十一時頃帰宅、○不在中有賀長雄、葉山萬次郎、野田五郎助等来訪す、○町田佐熊、大島直治の書状を携来る、十四日、午前、晴天、浦谷熊吉、町田佐熊、兒玉實徳来訪す、○運動に大塚方面に出づ、○午后、土屋新之助来る、乃ち談話を筆記せしむ、○黒田侯爵邸より来状、○Staat und Kirche in Japan (in der Kölnischen Zeitung) を読む、○校正をなす、○夜、文科大学より来状、○伊藤吉之助来訪す、○校正をなす、○「人生問題に対する態度」向上に出づ、○此日、丁抹国フレデリック第三世崩す、享年六十九、

十五日、午前、晴天、長島達より来状、○学習院に赴く、○象山詩鈔、正学指要及び大日本史論纂を乃木大将に貸附す、○午后、濱口庄吉来訪す、○「実業修身」一百部の奥附を文学社に付与す、○教科書会より来状、○良明堂より狩野力治の「校訓論」を送来る、○黒田侯爵より来状、○Benoy Kumar Sarkar より著書数種を送来る、○The Asiatic Society に米国大使館に赴く、車中加藤玄智に逢ふ、○区役所に赴き樋口勘治郎の為に投票す、○夜、

杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○吉田夫妻来る、○此日、英爾を遣はして「朱舜水全集」を購入せしむ、

十六日、午前、晴天、佐藤金造より来状、○大田黒作次郎より絵葉書来る、○校正を三省堂に送る、○午后、「陽春廬雜考」及び Oriental Review を読む、○講義に大学に赴く、○文科大学より来状、○英爾を有賀長雄宅に遣はす、○「朱舜水全集」を読む、○浦谷熊吉来訪す、○縫子、清子、春枝を拉して「ばらしん」に赴く、○杉山直喜より速記を送来る、○夜、大学より「大日本史料」一冊を送来る、○速記を訂正す、

十七日、午前、晴天、伊藤尚、関宇一郎、長濱和吉郎、近藤儀三郎、深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎、中島利一郎及び文成社員来訪す、○羽田久遠より来状、○葉山萬次郎妻、菓子箱を携来る、○午后、安田勝三郎より来状、○教科書会に文部省に赴く、○速記を訂正す、○加藤玄智より「我建国思想の本義」を送来る、○帝国教育会より札状と商品券とを送来る、○伊澤修二宅より半襟と菓子とを送来る、○書状を文成社に送る、○夜、速記を訂正す、○哲学会より来状、

十八日、午前、晴天、東敬治、成瀬仁藏、濱口庄吉、浦谷熊吉、森良三郎来訪す、○講義に高等師範に赴く、○「自然と倫理」に就いての談話筆記及び書齋の写真、読売新聞に出づ、○午後、原稿を印刷所に送る、○心理学通俗講話会に大学に赴く、富士川游及び小河滋次郎等と会見す、○夜、強風、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○文科大学より来状、○高津半造より絵葉書来る、○縫子、高子と正勝とを拉して東明館及び成美宅に赴く、○雨、

十九日、午前、晴天、深作安文より来状、○岩橋遵成、谷口豊五郎、内田栄次郎、関宇一郎来訪す、○縫子、元良勇次郎宅を訪ふ、○午后、哲学会に大学に赴き、「哲学と科学との異同に就いて」を講演す、○夜、第一学生集会所に会食す、○元良勇次郎及び笹島市郎兵衛より来状、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○樋口秀雄より「社会学十回講義」を読む、○夜半、磯野七平より磯野貞子の電報来る、

二十日、午前、晴天、鷺尾順敬及び河村琴声より来状、○講義に大学に赴く、○午后、伊藤尚来る、乃ち談話を筆記せしむ、○小林嘉一郎、美沢進の紹介状を携来る、○浦谷熊吉、伊藤吉之助来訪す、○黒田侯爵邸より使者来る、○座親玄山、岡部良英等より来状、○文科大学より来状、○衆議院議員選挙の結果、政友会二六八人、国民党九二人、中央派三六人、無所属四一人、○夜、序文を尚文館に付与す、○炎暑殆ど盛夏の如し、

廿一日、午前、雨天、博文館及び朱舜水記念会より来状、○森良三郎、岸田繁次郎来訪す、○文科大学より論文三種を送来る、○学生の論文を読む、○眞田一夫、東亜協会々員となる、○長島達及び鶴山保勝会より来状、○午后、学生の論文を読む、○河瀬秀治、深作安文、大島正徳来訪す、○縫子、すみれ会に千葉鑛藏宅に赴く、○夜、帝国学士院及び南摩邸より来状、○学生の論文を読む、廿二日、午前、雨天、学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○不在中深作安文来訪す、○小林嘉一郎より来状、○「仏耶と将来の宗教」高田日報に出づ、○寛克彦、東亜協会々員となる、○夜、尾原亮太郎及び磯野七平より来状、○吉田雪子来談す、○速記を訂正す、

廿三日、午前、晴天、黒田侯爵邸より使者書状を携来る、○書状を黒田侯爵邸の使者に付与す、○速記を訂正す、○文科大学の使者来る、乃ち之に論文三種を付与す、○女中千代を大学に遣はす、○浦谷ふみ来る、○午后、大学に赴き、試験を行ふ、○深作安文、吉田熊次来談す、○「女子修身」二百部の奥附を金港堂に付与す、○弘道館より印税を送来る、○釈慶淳より「密教」を送来る、○速記を訂正す、○夜、伊藤吉之助来訪す、○文科大学より試験答案を送来る、○書状を岸田繁次郎に送る、○試験の答案を読む、○此日、「仏耶の現状と将来の宗教」新愛知に出づ、

廿四日、午前、晴天、安東守男、村上專精、浦谷熊吉、谷内正順、深作安文、前川富藏来訪す、○徳川圀順等より「朱舜水全集」を送来る、○午后、「東亜の光」〔口絵解題を印刷所に送る、○文科大学及び丁酉倫理会より来状、○湯本武比古より「教界周遊前記」を送来る、○英爾を東海銀行に遣はす、○続蔵経二套を受取る、○試験の答案を読む、○文部省より来状、○書状を文科大学に送る、○黒田侯爵より使者来る、乃ち之に「春雷余響」を付与す、○「教界春秋」を草す、○夜、「教界春秋」を印刷所に送る、廿五日、午前、晴天、此頃印度の人口三億一千五百萬人ありと云ふ、○「朱舜水全集」を読む、○文科大学の使者来る、乃ち之に論文を付与す、○午后、史学会に大学に赴く、稲葉君山の舜水に関する講演あり、○「朱舜水全集」を読む、○文科大学より来状、○不在中安東守男、古文書を携来る、○「迷信多き国民」鹿児島実業新聞に出づ、○速記を整理す、○浦谷熊吉来談す、○夜、中村郁一、井上清助及び初等教育研究会より来状、○速記を訂正す、○高子、風邪を患ふ、因りて渡辺眞来診す、○澁沢栄一より来状、

○此日、正勝遠足に高尾山に赴く、

廿六日、午前、晴天、坂本喜治馬、葉山萬次郎、鈴木宗突、得能文、

補永茂助、四宮兼之来訪す、○朱舜水記念会及び有賀長雄より来

状、○午后、上宮教会追悼法要に赴き、一場の講演をなす、権田

雷斧、大内青巒等と会見す、○「師範修身」二百部の奥附を晩成

処に付与す、○成瀬仁藏より来状、○夜、「資治通鑑綱目」を読む、

○速記を訂正す、○高子未癒、○此日、縫子、児輩を拉して少年

少女の会に歌舞伎座に赴く、

廿七日、午前、晴天、大川長藏より来状、○大学に赴き、試験を行ふ、

○三上參次を史料編纂掛に訪ふ、長谷場純敬と会見す、○文科大

学より答案と書状とを送来る、○六盟館より印税を送来る、○志

田義秀より来状、○「女子修身」二百部の奥附を金港堂に付与す、

○午后、山岸光宣、辻本卯藏来訪す、○速記を訂正す、○夜、引

続き、速記を訂正す、○加藤駒二より来状○学生の答案を読む、

廿八日、午前、曇天、速記を訂正す、○森良三郎来談す、○縫子、

高子を拉して賀古鶴所宅に赴く、○午后、宮崎彦磨来訪す、○杉

山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○速記を整理す、○水道使

用料金八円○四銭、家屋税金拾参円九拾八銭を区役所に納む、○

深作安文来談す、○山岸光宣及び大内青巒より来状、○夜、金港

堂より使者、書状と印税とを携来る、○書状を元良勇次郎及び大

内青巒に送る、○高子、未全癒、

廿九日、午前、雨天、黒田侯爵邸より来状、○博文館より「国民道

徳叢書」第三篇式部を送来る、○学習院に赴く、○午后、教授会

に山上御殿に赴く、○「迷信の多き国民」海南新聞に出づ、○日

置健太郎来訪す、○杉山直喜より速記を送来る、○「学生宝鑑」

壹百部の奥附を大倉書店に付与す、○夜、境野哲来訪す、○藤原

喜一より来状、○金港堂より印税の残部を送来る、○丹波敬三

より来状、○速記を訂正す、○此日、「陽明学の系統より観たる

東澤瀉先生」陽明学に出づ、

三十日、午前、晴天、浦谷熊吉、岸田繁次郎来談す、○縫子、三井

銀行に遣はす、○速記を訂正す、○黒田侯爵邸より来状、○午后、

原稿を齋藤精輔に送る、○講義に大学に赴く、○佐伯利磨より来

状、○武藤儀亮、大学に来訪す、○澁澤栄一郎に赴く、○夜、十

時頃帰宅、○月色大に好し、

卅一日、午前、曇天、森良三郎、瀧精一、玉井廣平来訪す、○有賀

長雄より書状と書類とを送来る、○岸田より「東亜の光」(七の

六) 拾部を送来る、○「天才の通有性」東亜の光に出づ、○文科

大学より使者来る、○原田理一、津田雄三郎及び哲学会より来状、

○「淑女か、み」より御礼として菓子代を送来る、○午后、文科

大学より使者来る、乃ち之に点数を付与す、○書状を深作安文に

送る、○英爾を東海銀行に遣はす、○青山佐藤両博士祝賀会に金

式拾円を寄付す、○速記を訂正す、○渡辺眞来診す、○「迷信の

多き国民」大分新聞に出づ、○朱舜水記念会より来状、○高子少

しく快癒、○夜、速記を訂正す、○文科大学より来状、○仏書刊

行会より「聖徳太子伝叢書」及び「法華三大部復真鈔」を送来る、

六月

一日、午前、雨天、朱舜水記念会より来状、○講義に高等師範に赴く、

○「実業修身」一百部の奥附を文学社に付与す、○暁星学校より

来状、○午后、文成社より使者来る、○朱舜水記念会より「朱舜水」

を送来る、○「朱舜水」を読む、○黒川眞道来訪す、○花田仲之

- 助より来状、○「朱舜水全集」を読む、○夜、磯野七平より来状、○引続き「朱舜水全集」を読む、○吉田熊次、文学博士となる、
- 二日、午前、晴天、浦谷熊吉、吉田熊次来訪す、○木村鷹太郎より、「日本太古史」(下巻)を送来る、○日置健太郎及び大橋新太郎より来状、○研究、○「人生問題」に対する態度、向上に出づ、○午后、朱舜水記念会に第一高に赴く、戸川安宅、安東守男、床次竹次郎、井上友一、田所美治等と会见す、○木村繁四郎と第一高に会见す、○深作安文来訪す、○夜、赤穂義士会に偕行社に赴き、一場の講演をなす、○日置健太郎及び東相遠等に偕行社に会见す、
- 三日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○青山延敏より「異教の国の春」を送来る、○午后、大島正徳、武藤儀亮、有馬祐政来訪す、○島本與一郎、東京音楽学校、真言宗青年会より来状、○速記を訂正す、○高子軽快、○「哲学と科学との異同」中外日報に出づ、○夜、速記を訂正す、○書状を黒田侯爵邸に送る、
- 四日、午前、晴天、坪井九馬三より来状、○「人生と修養」機関術協会々報に出づ、○島本與一郎より著書原稿を送来る、○速記を訂正す、○文科大学より使者来る、乃ち之に論文三篇を付与す、○午后、原稿を整理す、○杉山直喜来る、乃ち談話を筆記せしむ、○「哲学と科学との異同」中外日報に出づ、○夜、三上參次及び碓安会社より来状、○齋藤文藏来訪す、○「丁酉倫理」を読む、
- 五日、午前、雨天、坪井九馬三より来状、○「生理と倫理」帝国教育に出づ、○学習院に赴く、○午后、委員会に山上御殿に赴き、文科大学紀要の事を議す、○女子大学より来状、○吉川貞次郎来訪す、○印度より The Collegian: All-India Journal of Education を送来る、○夜、原稿を整理す、○杉山直喜より速記を送来る、
- 新公論社及び帝国学士院より来状、○加藤駒二より書状二通と「新編修身備考」を送来る、○天霽る、
- 六日、午前、晴天、浦谷熊吉、岸田繁次郎来談す、○「古学哲学」七拾部及び「朱子哲学」五拾部の奥附を富山房に付与す、○書状を金港堂に送る、○原稿を整理す、○吉田熊次より来状、○午后、講義に大学に赴く、○黒田侯爵邸より使者、書状と詩稿とを携来る、○岩田僊太郎来訪す、○夜、原稿を整理す、○速記を訂正す、○此日、宮本正貫逝く、
- 七日、午前、晴天、原稿を整理す、○宮下今朝松、北原種忠の書状と「国民之教養」とを携来る、○深作安文来訪す、○午后、原稿を三省堂に送る、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○日置健太郎来訪す、○紀平正美来談す、○清子を拉して文藝協会に赴く、
- 田中正平、山田三良、岩谷小波、宮田脩等と会见す、○夜、十時頃帰宅、○黒田侯爵邸より来状、○帝国学士院より Proceedings of the Imperial Academy を送来る、
- 八日、午前、曇天、本橋靖来る、乃ち談話を筆記せしむ、○吉田熊次より菓物志籠と志箱とを送来る、○黒田侯爵邸より来状、○高楠順次郎妻、菓物志籠を携来る、○板橋卓一来る、有故不遇、○史料編纂掛より使者来る、乃ち之に宮本武藏像を付与す、○午后、木村繁四郎来訪す、○運動に大塚方面に外出す、○姉崎老母、全益子、笹川老母、井上、成美及び吉田夫妻を招燕す、○教科書会より来状、○夜、休養、
- 九日、午前、曇天、田中義能、今福忍、浦谷熊吉、伊藤吉之助来訪す、○杉山直喜より速記を送来る、○速記を訂正す、○「教員学力問題」萬朝に出づ、○午后、大倉保五郎、藤井健治郎来訪す、○野中貞

来訪す、有^レ故不^レ遇、○速記を訂正す、○姉崎正治来談す、○夜、書状を津田雄三郎に送る、

十日、午前、雨天、哲学及び哲学史の口述試験に大学に赴く、○午后、姉崎袖子来訪す、○坪井九馬三より「西洋史要」を送来る、○孔子祭典会より会報及び「茗羹典刑」を送来る、○「葉隠」の序を草す、○文科大学より来状、○夜、「葉隠」の序を草し了る、

十一日、午前、雨天、在伯林小林照朗より来状、○宗教学及び印度哲学の口述試験に大学に赴く、○午后、丹羽瀧男来る、乃ち談話を速記せしむ、○紀平正美来訪す、○三省堂より原稿を送返し来る、○夜、書状と「葉隠」の序文を中村郁一に送る、○文科大学より来状、○岸田繁次郎来談す、○^{My}

十二日、午前、雨天、学習院に赴く、○午后、英爾を大学図書館に遣はす、○黒田侯爵邸より使者来る、乃ち之に書状を付与す、○学生^の答案を読む、○学士院に赴く、○夜、九時頃帰宅、○実業之日本社より来状、

十三日、午前、晴天、黒田侯爵邸より使者、書状を携来る、○書状を黒田邸の使者に付与す、○Count Hermann Keyserlingより来状、○心理学の講述試験に大学に赴く、○不在中有賀長雄より使者来る、○午后、竹生太郎吉より来状、○学生^の答案を読む、○黒田侯爵より使者、書状と原稿とを携来る、○書状を文科大学に送る、○夜、日本学会の案内書拾九通を発送す、○Dr. Ziebert, Ist das Lebensrätsel ein naturwissenschaftliches oder ein philosophisches Problem?を読む、

十四日、午前、半晴、倫理学の口述試験に大学に赴く、○森良三郎来訪す、○午后、英爾を有賀長雄宅に遣はす、○Count

Hermann Keyserlingを帝国ホテルに訪ふ、○浦谷熊吉、宮坂喆宗来訪す、井上健兒より来状、○夜、心理学会に赴く、○帝国学士院より来状、○三省堂より校正来る、○此日、大掃除、○巢鴨の地租九円六拾銭を納む、

十五日、午前、晴天、上野恒夫来訪す、○教育学の口実試験^{My}に大学に赴く、○午后、府税市税金二、七六五を郵便局に納む、○校正をなす、○雪子清子春枝三人相携へて通俗心理学講話に赴く、○夜、日本学会に赴く、来会者二拾七八名、

十六日、午前、晴天、山岸光宣、荒浪市平、板橋卓一、浦谷熊吉、伊藤吉之助来訪す、○濱口庄吉より来状、○校正をなす、○午后、校正を三省堂に送る、○加藤咄堂より「維摩経講話」二冊を送来る、○Graf Hermann Keyserlingの歓迎会に山上御殿に赴く、○夜、八時頃帰宅、○黒田侯爵邸より書状と詩稿とを送来る、○国民新聞社より来状、

十七日、午前、雨天、島村吉三郎、田垣内友吉、田中満造より来状、○哲学の修了試験を行ふ、○原稿を初等教育研究会に送る、○午后、暴風雨、○深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来談す、○文科大学より来状、○三省堂より校正来る、○大学より答案を送来る、○夜、原稿を整理す、

十八日、午前、晴天、七時出発、横浜市に赴く、第一中学校に於て一場の講演をなす、○木村繁四郎、大屋八十八郎、阿部傳等と中学校に会見す、○午后、二時半頃帰宅、○在羅馬の桑田芳藏より絵葉書来る、○原稿を三省堂に送る、○夜、青年会館に赴き、橘瑞超の探検談を聴く、○十時頃帰宅、○黒田侯爵邸より来状、十九日、午前、晴天、岸田繁次郎より来状、○三省堂より校正来る、

○学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○木村繁四郎来訪す、○校正をなす、○夜、校正を三省堂に送る、

二十日、午前、晴天、山田國太郎来る、有故不遇、○校正を三省堂に送る、○浦谷熊吉来談す、○速記を訂正す、○服部活民、望月小太郎の紹介状を携来る、○縫子、三越に赴く、○午后、千代を学習院に遣はす、○大学に赴き、東洋哲学の修了試験を行ふ、○上杉慎吉より「帝国憲法綱領」を送来る、○速記を訂正す、○夜、婦一協会に上野精養軒に赴く、坂谷芳郎、中野武宮、矢代六郎、佐藤鏡太郎、グリーン、等と会見す、○十時頃帰宅、○藤田豊八より、「慧超伝箋釈」を送来る、○大学より答案を送来る、○此日、教員検定委員会臨時委員被仰付、

廿一日、午前、雨天、上田萬年を学長室に訪ふ、○元良勇次郎を私宅に訪ふ、○速記を訂正す、○黒田侯爵邸より来状、○午后、文科大学より来状、○英爾を三井銀行に遣はす、○土井龜之進、岩下壯一、九鬼周造、久保勉来訪す、○文部省より来状、○原稿を印刷所に送る、○夜、姉崎正治より来状、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○富田俊夫来る、乃ち之に海苔を托して甘木に送る、

廿二日、午前、晴天、黒田侯爵邸より来状、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送ること二回、○午后、澁沢栄一より来状、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○横浜商業学校の生徒、校長美澤進の書状を携来る、○夜、上田萬年より来状、○英爾を間端吾宅に遣はし、雑誌拾有余冊を富田俊夫に托し、甘木に贈らしむ、○書状を中島力造に送る、○雨、○学生の答案を讀む、○縫子、正勝を拉して吉田宅に赴く、

廿三日、午前、晴天、乃木希典、伊藤吉之助、豊田藤弥、岸田繁次郎、補永茂助、吉武眞貫来訪す、○文学士鳥山喜一、東亜協会々員となる、○電話にて、清子結婚の事を高楠夫人に告ぐ、○大日本続藏経二套を受取る、○午后、三省堂より校正を送来る、○校正をなす、○研究会に丁酉倫理会に赴く、○夜、九時頃帰宅、○三省堂より校正来る、○金港堂より来状、

廿四日、午前、晴天、校正を三省堂に送ること二回、○千代を大学会計課に遣はす、○書状を小谷重に送る、○午后、谷内正順、北村澤吉、服部活民、岩橋遵成、武内紫明、北原種忠妻来訪す、○書状を澁沢栄一及び姉崎正治に送る、○女子大学及び順天中学より来状、○三省堂より校正来る、○夜、校正を三省堂に送る、○文科大学より来状、

廿五日、午前、雨天、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○午后、すみれ会を開く、来会者八名、○岸田繁次郎再び来る、○半晴、○夜、勉強、

廿六日、午前、晴天、学習院に赴く、○三省堂より校正来る、○午后、曇天、小谷重より来状、○「教界春秋」を草し了りて之を印刷所に送る、○九鬼周造来訪す、○中島利一郎及び田中滿造より来状、○夜、哲学会に山上御殿に赴く、○藤井健治郎より来状、○校正を三省堂に送る、○横濱商業学校の生徒、校長美澤進の書状を携来る、○夜、上田萬年より来状、○英爾を間端吾宅に遣はし、雑誌拾有余冊を富田俊夫に托し、甘木に贈らしむ、○書状を中島力造に送る、○雨、○学生の答案を讀む、○縫子、正勝を拉して吉田宅に赴く、

廿七日、午前、晴天、山上御殿に赴き、ハーバード大学名誉総長チャールズ、ウヰルヤム、エリオット博士と会見す、○校正をなす、○午后、エリオット博士歓迎会に植物園に赴く、○校正をなす、○校正を三省堂に送る、○書状を岩田僊太郎に送る、○夜、蓮沼門三より来状、○金港堂より印税を送来る、○窪倉主税助、菓子を携来る、○小雨、○礼記内則篇を讀む、○此日、英爾をして畠山

健の葬式に会せしむ、○此頃、「古事類苑」(人部)を送来る、

二十八日、午前、晴天、坪井九馬三、及び井上侃齋建碑発起者より
来状、○高楠夫人、加藤駒二、小尾範治、高橋里美来訪す、○印
刷所より「東亜の光」口絵を送来る、○礼記を読む、○午后、哲
学及び哲学史卒業学生の謝恩会に大学に赴く、○英爾を三井銀行
に遣はす、○六盟館及び富山房より印税を送来る、○学生の答案
を読む、○叙勲二等授瑞宝章(六月二十七日)の辞令書を受取る、
○夜、帝国学士院より来状、○「東亜の光」口絵解題を印刷所に
送る、○哲学修了試験点数を文科大学に送る、○三省堂より校正
来る、

廿九日、午前、晴天、校正を三省堂に送る、○永井萬太郎より来状、
○勉強、○講義に高等師範に赴く、○高等師範の図書館に入る、
○午后、暁星学校、富田春山、全とらき、全俊夫及び黒田侯爵邸
より来状、○史学会に大学に赴き、「東洋古代の女性観」を講演す、
○夜、学生の答案を読む、

三十日、午前、晴天、在萊府小林照朗より絵葉書来る、○浦谷熊吉、
花輪郡藏、中島泰藏来訪す、○森良三郎来談す、○午后、学生の
答案を読む、○「師範修身」参拾部の奥附を金港堂に付与す、○
書状を文科大学に送る、○文成社より使者来る、○礼記の「文王
世子」を読む、○夜、礼記の礼運及び六韜を読む、○雷鳴、○驟雨、

巽軒日記

明治四十五年(西曆一九一二)下半年期

七月

一日、午前、晴天、森良三郎来る、○縫子を三井銀行に遣はす、○

「中朝事実」及び「丁酉倫理」を読む、○お末、浪野来る、○午
后、微雨、○書状を中島次郎吉に送る、○引続き「丁酉倫理」を
読む、○淀野耀淳来訪す、○「日本道徳論」を読む、○雷雨及び
雹、○英爾を鴻ノ池銀行に遣はす、○夜、「日本道徳論」を読む、
○文科大学より来状、

二日、午前、晴天、「丁酉倫理」を読む、○縫子、吉田宅に赴く、
○仏書刊行会より「本願寺通記」等五部の書を送来る、○運動に
植物園附近に出づ、○午后、杉山直喜来る、乃ち談話を速記せし
む、○博文館より書状と銅製大黒天とを送来る、○「倫理と教育」
及び「教育と修養」の奥附各々一百部を弘道館に付与す、○「東
亜の光」(七の七)成る、○「我宗教の前途」東亜の光に出づ、
○「日本道徳論」を読む、○雨、○夜、英爾を浦谷宅に遣はす、
○伊藤吉之助来る、○宮本和吉より書状と報告とを送来る、○「日
本道徳論」を読む、○弘道館より来状、○礼記を読む、○婦一協
会及び美澤進より来状、○「英語研究談」英語世界に出づ、

三日、午前、曇天、微に眼病を憂ふ、故に学習院に赴かず、○教授
会に山上御殿に赴く、○「日本道徳論」を読む、○午后、田中滿
造及び黒田侯爵邸より来状、○「日本道徳論」を読む、○史学会
より菓子箱を送来る、○「印度古代の女性観」中外日報に出づ、
○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○英爾を山上御
殿に遣はし、「宗教と教育」を携来らしむ、○中島利一郎来訪す、
○礼記を読む、○眼病癒ゆ、○夜、「礼の礼運」及び「六韜」并に「中
朝事実」を読む、○此日、那波房太郎より賀状来る、

四日、午前、半晴、三省堂より校正来る、○杉山直喜より速記
を送来る、○浦谷熊吉、安東守男及び黒田家の岩谷某来訪

す、○校正を三省堂に送る、○午后、文科大学より使者来る、○英爾を黒木安雄宅に遣はす、○速記を訂正す、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○岸田繁次郎来談す、○「漢学の教授に関する注意」教育研究に出づ、○丸善より印税を送来る、○夜、「印度古代の女性観」中外日報に出づ、○速記を訂正す、○末包善八及び澁澤栄一より来状、○教科書会より来状、五日、午前、曇天、黒木安雄、秋山悟庵、山岸光宣、来訪す、○原稿を整理す、○午后、晴天、書状を文部省、文科大学及び美澤進に送る、○黒田家より岩谷某来訪す、○原稿を三省堂に送る、○拾式円七拾銭の為換を鹿田静七に送る、○英爾をして島村吉三郎に返書を送らしむ、○帝国学士院に赴く、○夜、校正をなす、○「陽明哲学」一百部の奥附を富山房に付与す、○小平高明より来状、六日、午前、晴天、校正を三省堂に送る、○井上泰岳来訪す、○御礼の為に宮内省に赴き、「武士道叢書」を兩陛下に献上す、○宮本和吉の研究報告を文科大学の使者に付与す、○三省堂より原稿を送返し來たる、○午后、原稿を整理す、○佐々木廣義より来状、○英爾を元良勇次郎宅及び東海銀行に遣はす、○曹洞宗青年会員来訪す、○学習院女学部より御礼を送来る、○教科書会より書類来る、○「擊壤集」を黒田侯爵の使者に付与す、○運動に池袋に赴く、○原稿を三省堂に送る、○小杉熙より来状、○夜、元良勇次郎より来状、○同文館より「哲学大辞書」第七冊を送来る、○書状を井上健兒に送る、○文科大学より来状、七日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○山口圀太郎、小川竹男、三上義夫、谷内正順、丸尾永助○午后、杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○齋藤精太郎来訪す、○三省堂より校正来る、○

塚原政次より来状、○夜、雨天、校正を三省堂に送ること二回、○速記を訂正す、八日、午前、晴天、原稿を整理す、○浦谷熊吉来訪す、○黒川眞道、鶏卵箱を携来る、○磯江潤より商品券を送来る、○増永某宅を竹早町に訪ふ、○「朱舜水の学説に就て」弘道に出づ、○午后、時事新報記者山口圀太郎来る、乃ち談話を筆記せしむ、○宮崎彦磨来る、乃ち之に原稿を付与す、○堀謙徳、谷内正順、木場了本、森良三郎、黒木安雄、齋藤精太郎来訪す、○田中収吉より桂公爵の「処世訓」を送来る、○哲学及哲学史の卒業生より写真を送来る、○夜、床屋に赴く、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○此日、木場了本、齋藤精輔、東亜協会々員となる、○電話使用料拾六円五拾銭を郵便局に納む、○高橋夫人に、清子見合の事を承諾す、九日、午前、晴天、十時二十分新橋発の汽車にて、横浜商業学校に赴き、校友会大会に於て一場の講演をなす、○午后、三時頃帰宅、○成美宅よりシヤツ及山桃志籠、佐々木信綱よりビール半打、深作安文より菓子入れ壺筒を送来る、○在沛府友枝高彦より絵葉書来る、○杉山直喜より速記を送来る、○初等教育研究会より為換を送来る、○丸善より洋酒三壘を送来る、○英爾を呉秀三の妻の葬式に会せしむ、○夜、馬上孝太郎来訪す、○伊藤吉之助及び小山柄繪より研究報告を送来る、○小山柄繪より来状、○速記を訂正す、○岩田徳太郎来訪す、○縫子、益之進を携へて外出す、○吉田雪子来る、十日、午前、晴天、呉秀三より礼状来る、○帝国大学の卒業式に赴く、○卒業学生合計九百三十四人、○午后、三省堂よりビール式

打を、文明協会よりビール壺打及びシトロン壺打を送来る、○三省堂より校正来る、○「人生と修養」機械雑誌に出づ、○吉岡郷甫より「対照語法」を送来る、○婦人画報社より玉川団扇置と皇族画報とを送来る、○夜、婦一協会に精養軒に赴く、○十一時頃帰宅、○此日、伊澤修二よりオレンジ壺箱を、文学社より煙草壺箱を送来る、

十一日、午前、小雨、宮内省、文部省及び President Eliot より来状、○教授会に山上御殿に赴く、○三省堂より校正来る、○近藤儀三郎より菓物壺箱を、村松喜太郎よりサイダー壺打を、森良三郎より桃壺箱を送来る、○高田早苗、東亜協会賛助員となる、○田中収吉来訪す、○浦谷熊吉来談す、○午后、校正を三省堂に送ること二回、○岸田繁次郎来談す、○蘇武利三郎、権田保之助、渡辺庸三、上石保教、中村祐海、柚原益樹、木村久一、東亜協会々員となる、○道友会より「三教会同と天理教」とを送来る、○夜、勧誘書を坪野平太郎及び櫻村才助に送る、○校正を三省堂に送る、○速記を訂正す、○此日、吉田静致来訪す、

十二日、午前、曇天、三省堂より校正来る、○美澤進、枝元長夫より来状、○武内紫明、吉田静致、姉崎老母、植田若子、葛西秀雄来訪す、○校正を三省堂に送る、○育成会より桃壺箱を、図書会社より鯉節を送来る、○英爾を宮内省に遣はす、○森良三郎来る、○午后、「国民道德概論」附録の原稿を三省堂に付与す、○速記の訂正を順天中学に送る、○九鬼周造、笹川老母来訪す、○書状を安藤源治郎に送る、○夜、三省堂より校正来る、○校正をなす、○大和田眞彦より来状、○「新編修身備考」の原稿を訂正す、十三日、午前、雨天、遠藤隆吉より砂糖壺箱を、富山房より水入壺

箱を送来る、○「国字改良意見」時事新報に出づ、○長谷川福平来訪す、○同文館より文房具を、文成社より砂糖を送来る、○校正を三省堂に送る、○菓子を川端、中洲及び齋藤儀八に、煙草を村松喜太郎に送る、○午后、校正を三省堂に送る、○文科大学より来状、○三省堂より校正来る、○荒浪市平、稻川遺芳を携来る、乃ち談話を速記せしむ、○谷実夫、菊地廣来訪す、○加藤駒二よりハンケチ壺打を、浅倉屋より菓子壺箱を送来る、○サイダー壺箱を永地宅に、砂糖壺箱を姉崎宅に送る、○弘道館よりサイダー半打を、林平次郎よりビール半打を送来る、○夜、斯道会より来状、○校正を三省堂に送る、○鉄道院より「遊覧地案内」を送来る、○此日、益之進軽快、

十四日、午前、小雨、團琢磨を原宿に訪ふ、○松浦一、岸田繁次郎妻、宮川鹿之助、及び横浜商業学校生徒来訪す、○三省堂より校正来る、○六盟館よりハンケチ式打を送来る、○團琢磨、東亜協会賛助員となる、○午后、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○縫子、清子を拉して日比谷公園に赴く、伊坂誠之進と見合の爲也、○荒浪市平より速記を送来る、○校正を三省堂に送る、○三省堂より校正来る、○夜、三省堂より原稿料を送来る、○校正を三省堂に送る、○武内紫明より来状、○此日、不在中浦谷熊吉来る、十五日、午前、晴天、伊坂誠之進來訪す、○文科大学の協議会に山上御殿に赴く、○三省堂より校正来る、○根岸福弥及び岸田繁次郎より来状、○午后、縫子、姉崎宅に赴く、○校正を三省堂に送ること三回、○読売新聞社よりビール壺打を送来る、○婦一協会の規則及び趣意書を團琢磨に送る、○夜、石上弥助、ビール三本を携来る、○「超然主義」の序を荒浪市平に送る、○縫子、清子、

春枝を拉して成美宅に赴く、○谷内正順の原稿を訂正す、○此日、狩野友信逝く、享年七十。

十六日、午前、晴天、境野哲、角田松壽来訪す、○午后、深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○土屋敦富、関新吾、中島利一郎より来状、○「国民道德概論」の序を草す、○樫村才助、松信定雄、梶島二郎、大村謙太郎、牛原虎生、三浦太郎、三浦守治、東亜協会々員となる、○夜、「国民道德概論」の凡例を作る、○「新編修身」備考一冊を訂正し了る、○金港堂より「The Russo-Japanese War」の第二冊と第三冊とを送来る、

十七日、午前、晴天、津田雄三郎、境野哲、伊坂誠之進より来状、○学習院女学部に赴く、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○「国民道德概論」の序文及び凡例を齋藤精輔に送る、○午后、金港堂の使者、The Russo-Japanese Warの第一冊を携来る、乃ち之に原稿一冊を付与す、○同文館より原稿料を送来る、○谷実夫来訪す、○三省堂より校正来る、○土屋敦富より来状、○「国民道德概論」の目録を三省堂に送る、○三省堂より校正来る、○夜、杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○校正を三省堂に送る、○暁星学校より来状、

十八日、午前、晴天、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送ること二回、○古城貞吉、加藤駒二来訪す、○実業之日本社より「変り者」を送来る、○午后、三省堂山下半治来訪す、○校正を三省堂に送る、○三省堂より校正来る、○文科大学より来状、○狩野友信の計報来る、○夜、伊藤吉之助来訪す、○校正を三省堂に送る、○此日、高楠順次郎妻に対し、伊坂誠之進の事を謝絶す、○杉山直喜より速記を送来る、

十九日、午前、晴天、上野陽一より来状、○黒木安雄、浦谷熊吉来訪す、○山崎洋服店より洋服二揃を送来る、○大塚墓所保存会に山上御殿に赴く、○午后、お末、浪野、雪子、お若、愛子及び志げを招燕す、中洲養父の冥日に当るが為めなり、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○成瀬仁藏来訪す、○浦谷熊吉より来状、○教科書会に文部省に赴く、○夜、谷実夫より参考書類を送来る、○校正を三省堂に送る、○此日、「家庭講話」を金港堂の使者に付与す、○有馬祐政より献納本「国民道德叢書」三冊を携来る、

二十日、午前、晴天、谷実夫より来状、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送ること二回、○山下半治来訪す、○原稿を日清印刷会社に送る、○書状を浦谷熊吉に送る、○午后、杉山直喜、岡倉一雄来訪す、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送ること二回、○新公論社より来状、○天皇陛下御重患の報道来る、○英爾を高楠宅及び深作宅に遣はす、○夜、校正を三省堂に送る、○此日、聖上御重患の報道あり、

廿一日、午前、晴天、吾妻兵治、曾根松太郎、古川黄一、角田松壽、行弘札来訪す、○広告文案を三省堂の使者に付与す、○三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○文学士五十嵐了悟、東亜協会々員となる、○大日本統藏経二套を受取る、○宅地租金七、五八五を区役所に納む、○鳥居龍藏より繪葉書来る、○午后、雷雨、○校正を三省堂に送る、○天機伺に宮中に赴く、○鳥居龍藏より繪葉書又来る、○文科大学より来状、○伊藤吉之助来訪す、○夜、曇天、三省堂より校正来る、○校正を三省堂に送る、○深作安文より来状、○「教界春秋」を草す、○此日、阿部莊二来訪す、

廿二日、午前、曇天、角岡知良、土屋敦富、浦谷熊吉来訪す、○大
 学に赴き、濱尾総長を訪ふ、○三省堂より校正来る、○校正を三
 省堂に送る、○午后、宇野哲人、齋藤基次郎妻来訪す、○山田卯
 一郎、三好愛吉の紹介状を携来る、○「教界春秋」を草す、○岸
 田繁次郎来訪す、○鼓常良、佐川市助、畑一枝、東亜協会々員と
 なる、○「教界春秋」を印刷所に送る、○夜、東亜の光口絵来る、
 乃ち之が解題を印刷所に送る、○書状を根岸福弥及び貞金近松に
 送る、

廿三日、午前、曇天、書状を谷實夫に送る、○東明館に赴く、○岩
 田僊太郎、団扇を携来る、○午后、書状を曾根松太郎、濱尾総長
 及び洲本に送る、○三、五○新橋発、○英爾をして電報を豊橋市
 龍拈寺に送らしむ、○夜、十一時三十九分豊橋市着、直に岡田屋
 に投ず、

廿四日、午前、曇天、書状を塚原政次に送る、○龍拈寺に赴き、講
 習員と共に撮影す、○午后、再び龍拈寺に赴き、曹洞宗青年会開
 催の講習会に莅み、「宗教観」に就いて演述す、○此日、大口喜六、
 淺井常三、内山新、大内青巒、中島徳藏等と会見す、○夜、永野
 武三、兒島温来訪す、○十一時四十三分豊橋市出発、

廿五日、午前、晴天、○午后、三時頃広島市着、早水仁三郎、根岸
 福弥、片岡文理（事務官）齋藤鹿三郎（高女長）森田保之、鳥居
 準太郎（職工学校校長）来迎す、○夜、芸備偉人伝を読む、○書状
 を留守宅に送る、

廿六日、午前、曇天、講習会に師範学校に赴く、○鶴虎太郎（広陵
 中学校長）山中正雄（山中女学校長）村松弥一郎（商業学校長）
 西村尚俊等と会見す、○午后、「頼杏坪伝」及び「芸備偉人伝」

を読む、○夜、塚原政次、長屋順耳、生田清太郎、根岸福弥来訪す、
 廿七日、午前、晴天、講習会に赴く、○留守宅より郵便物来る、○
 姉崎正治より来状、○比治山に赴き便殿を拝観す、○午后、講習
 会に赴く、○夜、講習員某来訪す、

廿八日、午前、晴天、深田藤次来訪す、○講習会に赴く、○佐野賢
 作、後藤居三郎（以上県視学）荒川蕩亀（郡視学）等と会見す、
 ○末包善八、谷実夫、中島次郎吉より来状、○午后、講習会に赴
 き、予定の時間を講了す、○夜、根岸福弥、早水仁三郎、片岡文
 理、森田保之、山中正雄来会す、○夜半広島市出発、○根岸福弥、
 深田藤次等送来る、

廿九日、午前、晴天、添田壽一、福田徳三等と会見す、○「芸備偉人伝」
 を読む、○夜、八時廿五分新橋着、正勝と英爾と来迎ふ、○九時
 頃帰宅、○不在中目黒書店より菓子を送来る、○三省堂より「国
 民道徳概論」一千部の奥附を請来る、乃ち之に付与す、○岡野義
 三郎、吉田穰等より来状、○松平直亮より「泊翁叢書」第二輯を
 送来る、○加藤玄智より「宗教学」を送来る、○安倍能成より「研
 究報告書」を携来る、○博文館より報酬を、六盟館より印税を送
 来る、

三十日、午前、晴天、零時四十三分天皇崩御、宝寿六十一、○一時
 嘉仁親王踐祚せらる、御年三十三、妃節子、皇后とならせらる、
 ○浦谷熊吉来談す、○宮中に参内す、○芳賀矢一より「日本人」
 を送来る、○午后、文科大学より来状、○驟雨、○新聞雑誌類を
 読む、○夜、書状を中島次郎吉に送る、○大正と改元す、公羊伝
 に「君子大居正」易に「大亨以正天之道也」とあるに由る、○先
 帝の諡号を「明治天皇」と決定す、○第一皇孫迪宮裕仁親王を

皇太子となす、○豪雨、

廿一日、午前、雨天、患下痢、○中熊直喜、深田小一郎、山内佐太郎、中島善太郎、松浦厚、及び長沼旅館より来状、○江部淳夫より絵葉書来る、○「東亜の光」(七の八)成る、○「現今の国字問題に就いて」東亜の光に出づ、○午后、少しく軽快、○書状を末包善八及び帝国大学に送る、○岡山県教育会より電報来る、○返電を岡山県教育会に送る、○夜、宮本和吉来訪す、○松山直藏等より来状、○再び電報を岡山県教育会に送る、

大正元年

八月

一日、午前、晴天、松山直藏より柿団子及び柿羊羹を送来る、○「人生と修養」機械雑誌に出づ、○電報を岡山県教育会に送る、○浦谷熊吉来談す、○午後、電報を末包善八に送る、○書状を松山直藏、深田藤次、末包善八、塚原政次、根岸福弥に送る、○電報を岡山県教育会に送る、○運動に大塚方面に出づ、○夜、岡山県教育会より電報来る、○返電を岡山県教育会に送る、○末包善八より来状、○黒田侯爵の詩稿を読む、

二日、午前、晴天、前田平藏及び蓮沼門三より来状、○鷹野勇雄、岡正一来訪す、○英爾を岸田宅に遣はす、○岡山県教育会より電報来る、○午后、文屋教晋、藤末亮俊、東亜協会々員となる、○岸田繁次郎来訪す、○綾歌郡視学末澤常より電報来る、乃ち返電を送る、○運動に巢鴨に赴く、○夜、谷内正順の原稿を訂正す、○此日、文成社より使者来る、○此頃、在宮島ゴールドン夫人より来状、○「国民道德概論」の広告、諸雑誌に出づ、

三日、午前、半晴、時々驟雨、浦谷熊吉、森良三郎来訪す、○「国

・民・道・德・概・論」成る、三省堂より先づ五部を送来る、○「国民道德概論」二千部の奥附を三省堂に付与す、○「国民道德概論」各々壹部を姉崎正治、吉田熊次及び中島徳藏に送る、○綾歌郡教育会より電報来る、○校正を三省堂に送る、○谷内正順の原稿を訂正す、○「国民道德講演大意」芸備日々新聞^イに出づ、○午后、「新編修身」の教師用原稿を金港堂に付与す、○電報を綾歌郡役所に送る、○校正を三省堂に送る、○雷雨、○夜、書状を櫻村才介に送る、○三省堂より「国民道德概論」五部を送来る、○校正を三省堂に送る、○柏尾輝喜及び岸田繁次郎より来状、

四日、午前、曇天、清涼、補永茂助、花輪郡藏、来訪す、○新井田次郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○綾歌郡より電報来る、乃ち返電を送る、○午后、曹洞宗青年会より来状、○乃木大将、使者を遣はして、三部の書を返す、○「国民道德概論」壹部を乃木大将の使者に付与す、○「国民道德概論」を徳富猪一郎に送る、○岡山県教育会より来状、○「初等勸語教本」を整理す、○夜、吉田熊次来談す、○中島徳藏より来状、

五日、午前、晴天、冷氣、○新井田次郎より速記を送来る、○根本通徳、浦谷熊吉、来訪す、○寺田精一より「危機に富める青年及び児童期」を送来る、○午后、岩田憊太郎、花輪郡藏来訪す、○三、五〇新橋発、○車中黒田侯の詩稿を読む、○吉田静致と邂逅す、○夜、引続き、詩稿を読む、

六日、午前、晴天、詩稿を読了す、○芳賀矢一の「日本人」を読む、○午后、一二、四〇高松市著^イ、末澤郡視学来迎す、乃ち共に宇多津に赴き、本妙寺に投ず、○夜、「日本人」を読む、○風雨、

七日、午前、晴天、高松市より来客あり、○講習会に坂出に赴く、

綾歌郡長稻葉脩敬、岩瀬庄太郎、中村三元等と会見す、○午后、白峯の崇徳帝御陵に赴く、○六時頃、本妙寺に帰る、○不在中岩瀬亀之進来訪す、○夜、博文館の速記を訂正す、

八日、午前、晴天、講習会に坂出に赴く、○小雨、○午后、速記を訂正す、○「日本人」を読む、○山上に登る、○夜、小学校に赴き、宇多津町民の為に一場の講演をなす、聴衆約七百名、綾歌郡長稻葉脩敬及び末澤郡視学等来会す、

九日、午前、晴天、講習会に坂出町に赴く、○午后、又講習会を開く、○留守宅より郵便物来る、○本妙寺に帰りて新聞を読む、○夜、郡長郡視学等の招燕に坂出のうつばやに赴く、○此日、原稿を博文館に送る、

十日、午前、晴天、講習会に坂出に赴く、○留守宅より郵便物来る、○塚原政次、小杉熙、根岸福弥、村木維夫、深作安文、牧瀬五一郎等より来状、○午后、二、三二坂出々発、○六、五八岡山市着、土井亀之進来迎す、○錦園に投宿す、○夜、田中眞佐志、和氣昌郎、(女子師範教諭)、野崎又太郎、岡野桂太、(県属)多田定之進(県視学)来訪す、○留守宅より郵便物来る、

十一日、午前、晴天、講習会に県会議事堂に赴く、知事大山綱昌、小菅定吉(高女教諭)、国富友次郎(実科女長)飯田盛敏(事務官)、中島次郎吉等と会見す、○午后、佐藤金造来訪す、○留守宅より郵便物来る、○櫻村才介より来状、○新聞を読む、○左の御製を拝誦す、

ふむ人は、あまたあれども、言の葉の、道のたかねをたれかこゆらむ。

眼に見えぬ、神の心に通ふこそ、人の心のまことなりけれ、

さしのぼる、朝日の如く、爽やかに、もたまほしきは、心なりけり、」

大山知事、飯田事務官を遣はし、三角正宗半ダースを送来らしむ、○清水千代藏来訪す、○夜、佐伯秀太郎、中島次郎吉、仁田直来訪す、

十二日、午前、晴天、講習会に赴く、尾原亮太郎、兒玉利実等と会見す、○書状を留守宅に送る、○午后、金光教会及び中学に赴き、一場の講演をす、○夜、十時頃帰宅、○此日、谷内正順及び日本弘道会より来状、

十三日、午前、曇天、講習会に赴く、○午后、中島次郎吉、仁田直、尾原亮太郎等と吉備津神社に参拝す、○笹島市良兵衛、長江藤次郎より来状、○夜、田村喜作及び土井亀之進来訪す、○此日、桂侯爵、内大臣兼侍従長に任せらる、

十四日、午前、晴天、講習会に赴く、○岡野義三郎より来状、○午后、尾原亮太郎、野崎又太郎来訪す、○尾原亮太郎と共に黒住教本庁に赴く、黒住宗子、河上某、松本慶次郎等と会見す、○黒住宗武送来る、○留守宅より郵便物来る、○夜、飯田盛敏、尾原亮太郎、関守衛来訪す、○「岡山県人物伝」を購入す、○男爵楫取素彦逝く、享年八十四、

十五日、午前、晴天、講習会に赴き、講義を結了す、○不在中関新吾来訪す、○「岡山県人物伝」を読む、○午后、佐藤金造及び範雄来訪す、○女子師範学校に赴き、「現今の女子問題」に就いて演説す、○後楽園に赴く、○夜、七、二三岡山市出発、知事大山綱昌、事務官丸山熊男、全飯田盛敏、田村喜作等拾数人送来る、十六日、午前、晴天、○午后、一、五〇新橋着、三時頃帰宅、○浦

谷熊吉、黒木安雄来訪す、○夜、教科書会より来状、○検定試験の答案来る、○夜、新聞を読む、

十七日、午前、晴天、縫子を三井銀行に遣はす、○根本通徳来訪す、○根本通明遺愛の古刀壱振を譲受く、○英爾を東海銀行及び硫酸会社に遣はす、○午后、小宮八十二来る、乃ち談話を速記せしむ、○夜、佐々木信綱及び吉田雪子来訪す、

十八日、午前、晴天、豊田臻、魚住惇吉、武藤長平、岩橋遵成来訪す、○武藤長平、東亜協会々員となる、○下痢を患ふ、○午后、枝元長夫来る、○枝元長夫をして談話を筆記せしむ、○在欧小林照朗より絵葉書来る、○小宮八十二より速記を送来る、○錦園より荷物を送来る、○夜、休養、

十九日、午前、晴天、下痢全快、○浦谷熊吉、森良三郎来訪す、○巢鴨宮内に借家二軒を建築することに決定す、○運動に植物園方面に出づ、○縫子、清子と姉崎及び吉田宅に赴く、○午后、井上泰岳来る、有故不遇、○月江雋英来る、乃ち談話を速記せしむ、佐々木信綱の爲めなり、○文成社の速記者来る、乃ち談話を速記せしむ、○小宮八十二より速記を送来る、○「帰京届書」を文科大学に送る、○東亜協会の速記を訂正す、○夜、勧誘書を佐藤範雄、宮本和吉、依田儀三、井上泰岳、魚住惇吉に送る、○速記を訂正す、

二十日、午前、曇天、城戸季雄より来状、○速記を訂正す、○辻本卯藏来訪す、○午后、井上泰岳来訪す、有故不遇、○日本弘道会より速記者来る、乃ち談話を速記せしむ、○大澤治作、東亜協会々員となる、○魚住惇吉、土井亀之進、関新吾及び文科大学より来状、○岸田繁次郎、森良三郎、大工岡本某、来談す、○

「歴史以前の我国諸民族」因伯時報に出づ、○速記を訂正す、○夜、「東亜の光」原稿を印刷所に送る、○中島次郎吉より来状、

廿一日、午前、晴天、九鬼周造、浦谷熊吉来訪す、○東京社の筆記を訂正す、○吉田熊次より来状、○午后、速記を訂正す、○原稿を婦人画報社に付与す、○「岡山人物伝」を読む、○黒田侯爵の詩稿を閲読す、○巢鴨に運動に赴く、○夜、黒田侯爵の詩稿を閲読す、○文部省より来状、

廿二日、午前、曇天、○黒田侯爵の詩稿を閲読す、○三宅教授祝賀会より来状、○救世軍総督ブース大将昨廿一日を以て歿すとの計報あり、享年八十四、○運動に市街に出づ、○中島好子及び八木光貫来訪す、○午后、黒田侯爵の詩稿を閲読す、○原稿を佐々木信綱に送る、○帝国学士院及びSidney L. Gulickより来状、○印度よりBenoy-Kumar-Sarkar, The Science of History and the Hope of Mankindを送来る、○運動に小日向方面に出づ、○夜、原稿を三省堂に送る、○博文館より来状、○「東洋倫理学講義」を訂正す、

廿三日、午前、晴天、下痢再発、○小倉清三郎来訪す、○縫子、益之進を拉して大学小児科に赴く、○英爾を大学に遣はす、○午后、「東洋倫理学」を訂正す、○藤井健治郎来訪す、○川地方敬より来状、○文科大学より来状、○弘道館より書状と「三浦梅園全集」(上)及び歴史三冊とを送来る、○夜、「東洋倫理」及び「師範修身」を訂正す、

廿四日、午前、晴天、加藤玄智より来状、○「師範修身」を閲読す、○武内紫明来訪す、○午后、「師範修身」を閲読し了る、○平岡繁樹来訪す、有故不遇、○吉田宅に赴く、○夜、文部省より検定

試験の答案を送来る、○近衛公爵来訪す、○三省堂より「国民道徳概論」拾部を送来る、

廿五日、午前、晴天、「教界春秋」を草す、○富田順吉より紅茶を送来る、○印刷所より「東亜の光」口絵を送来る、○水島慎次郎、岡正一、金沢庄三郎、井上波野来訪す、○午后、間端吾、深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎、来訪す、○「教界春秋」を草す、○佐藤範雄、東亜協会々員となる、○夜、御通夜に宮中に赴く、十時頃帰宅、

廿六日、午前、晴天、校正を文成社の使者に付与す、○「教界春秋」及び「東亜の光」口絵解題を印刷所に送る、○午后、河合清太郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○枝元長夫より来状、○夜、吉田熊次来る、○検定試験の答案を読む、

廿七日、午前、晴天、八田三喜、石黒精一来訪す、○検定試験の答案を読む、○英爾を東海銀行に遣はす、○英爾を遣はし、「国民道徳概論」を元良勇次郎及び穂積八束に送る、○午后、藤井健治郎及び中村秋人来訪す、○原稿を武内紫明に送る、○「国民道徳概論」を藤井健治郎に付与す、○夜、穂積八束より来状、○検定試験の答案を読む、○此日、大行天皇の御追号は、明治天皇と確定す、

廿八日、午前、晴天、小林文七、小林義則、湯本倉之助、宮本和吉来訪す、○小林義則又来る、○文科大学より小尾範治の研究報告を送来る、○午后、元良勇次郎より来状、○哲学会の速記を訂正す、○児輩、品川に遊ぶ、○夜、検定試験の答案を読む、廿九日、午前、晴天、堀重里及び実業之日本社より来状、○大島正徳来訪す、○英爾を谷津直秀宅に遣はす、○浦谷熊吉来談す、○

午后、文部省より検定試験の答案を送来る、○哲学会の速記を訂正す、○岸田繁次郎より来状、○運動に大塚方面に赴く、○夜、検定試験の答案を読む、○谷理藏の計報来る、○湯本倉之助、願書を携来る、

三十日、午前、晴天、「国家の大故と女性」婦人画報に出づ、○神奈川県庁より「講演集」五冊を送来る、○河合清太郎より筆記を送来る、○哲学会の速記を訂正す、○午后、哲学会の速記を訂正し了る、○書状を菊池大麓及び文科大学に送る、○教科書会より書類来る、○齋藤志げ子来る、○宝文館の速記を訂正す、○夜、引続き、速記を訂正す、○白坂栄彦より来状、○検定試験の答案を読む、○此日、暑氣見舞状を發送す、

三十一日、午前、半晴、森良三郎来る、○英爾を遣はし、原稿を宮本和吉に送る、○境野哲来訪す、○原稿を教育之實際社に送る、○検定試験の答案を読む、○午后、岩木貞一及び東亜協会計部より来状、○甲辞を谷慶祐に送る、○検定試験の答案を読む、○中島利一郎来る、乃ち之に黒田侯爵の詩稿を付与す、○「東洋倫理」原稿を訂正す、○強風、○「東亜の光」(七の九)成る、○「国家の大変に対する感想」東亜の光に出づ、○夜、教員検定委員会より来状、○検定試験の答案を読む、○暴風雨、

九月

一日、午前、暴風雨、津田雄三郎より来状、○豊田臻来訪す、○検定試験の答案を読む、○芳賀矢一の「日本人」を読む、○午后、検定試験の答案を読む、○「日本人」を読む、○伊藤吉之助来訪す、○「東洋倫理」の速記を訂正す、○夜、引続き、「東洋倫理」を訂正す、○検定試験の答案を読む、

二日、午前、晴天、暴風雨歇む、○森良三郎、浦谷熊吉、黒木安雄来訪す、○尾原亮太郎より来状、○Henri Bergson, Creative Evolution を読む、○午后、千葉亀雄、岩田僊太郎、座親玄齊、齋藤つね来訪す、○検定試験の答案を読む、○Bergson, Creative Evolution を読む、○夜、検定試験の答案を読む、○「日本人」を読む、○齋藤つね宿泊す、

三日、午前、晴天、井上すゑ来る、○「日本人」を読む、○大日本雄弁会より書状と「明治雄弁集」を送来る、○午后、教科書會に文部省に赴く、○岩田僊太郎より来状、○「師範修身」三百部の奥附を晩成処に付与す、○書状を岩田僊太郎に送る、○史学会より速記を送来る、○「神道の過去及び将来」明治雄弁集に出づ、○検定試験の答案を読む、○「先帝の御聖徳」中外日報に出づ、○夜、岸田繁次郎来談す、○検定試験の答案を読む、○中島利一郎、詩稿を携へて来る、

四日、午前、晴天、検定試験の答案を讀了す、○瀧精一來訪す、○黒田家より使者来る、○英爾を東海銀行及び黒木安雄宅に遣はす、○午后、黒木安雄、後藤朝太郎来訪す、○「日本人」を読む、○教科書會より来状、○運動に大塚方面に出づ、○夜、千葉亀雄来る、乃ち談話を筆記せしむ、○中島利一郎より来状、○此日、「先帝の御聖徳」中外日報に出づ、○教員検定委員会及び岩田僊太郎等より来状、

五日、午前、曇天、英爾を岸田宅及び三井銀行に遣はす、○「日本人」を讀了す、○藤岡由夫より「東圃追憶録」を送来る、○Bergson, Creative Evolution を読む、○英爾を東海銀行に遣はす、○縫子、元良及び笹川二氏の宅に赴く、○岸田繁次郎来談す、○

午後、千葉亀雄、使者を遣はし、筆記を送来る、乃ち之を訂正して使者に付与す、○児輩を拉して巢鴨宮内に赴く、○森山章之丞、東亜協會々員となる、○「先帝の御聖徳」中外日報に出づ、○「日韓古代地名の研究」を読む、○夜、有馬祐政来訪す、○教育實際社より来状、○「日韓古代地名の研究」を読む、○黒田家より来状、

六日、午前、半晴、山岸光宣、浦谷熊吉、岡正一、来訪す、○巢鴨の大工来る、乃ち之に参百円を付与す、○四宮兼之、来談す、○午后、教科書會に文部省に赴く、途上速見湜と會見す、○黒田家及び黒木安雄より来状、○「日韓古代地名の研究」を讀了す、○九鬼周造来訪す、○文科大学及び文部省より来状、○書状を黒田侯爵に送る、○夜、「先帝の御聖徳」中外日報に出づ、○三省堂をして「国民道德概論」を山縣友朋及び加藤弘之に送らしむ、○此頃エゲンバラ大学生理学教授シーファー氏英国協会に於て「生命は人工製作を為し得るものなり」との講演をなせり、○Bergson, Creative Evolution を読む、○日本政記を読む、○此日、田岡嶺雲逝く、享年四十三、

七日、午前、小雨、英爾を菊池大麓及び高橋穰宅に遣はす、○「国民道德概論」を菊池大麓に送る、○Bergson, Creative Evolution 及び「日本政記」を読む、○竹生太郎吉より来状、○縫子、姉崎及び吉田宅に赴く、○「大日本仏教全書」来る、○午后、加藤駒二、高橋穰来訪す、○「先帝の御聖徳」中外日報に出づ、○日本政記を読む、○井上健兒より菓子、織物等を送来る、○夜、日本政記及びBergson, Creative Evolution を読む、○冷氣、

八日、午前、雨天、補永茂助、速見湜来訪す、○雷鳴、○午后、日本政記及びBergson, Creative Evolution を読む、○夜、引続き

Bergsonを読む、○三省堂より「国民道德概論」五部を送来る、○冷氣、○此日、女中たまを解雇す、

九日、午前、曇天、加藤弘之より来状、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○午后、書状を藤井健治郎及び長江藤次郎に送る、○古事類苑(宗教部三)を送来る、○「倫理と修養」帝国教育に出づ、○竹生太郎吉より論分を送来る、○山田卯一郎、浦谷熊吉来訪す、○文科大学より来状、○加藤玄智より書状と葡萄老籠とを送来る、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○植田わか来る、乃ち之に燕尾服を付与す、○夜、文科大学より来状、○引続々Bergson, Creative Evolutionを読む、

十日、午前、半晴、田中知邦より来状、○A. W. Moore, Bergson and Pragmatism 及び Bergson, Creative Evolutionを読む、○在欧洲牧瀬五一郎より絵葉書来る、○午后、Bergson, Creative Evolutionを読む、○縫子、春枝を拉して齋藤基次郎宅に赴く、○夜、Bergson, Creative Evolutionを読む、

十一日、午前、曇天、教授会に山上御殿に赴く、○「先帝の御聖徳と青年」日本青年に出づ、○午后、雨天、Bergson, Creative Evolutionを読む、○前田弘二来訪す、○夜、文成社員来る、乃ち談話を筆記せしむ、○書状を前田弘二に送る、○井上すゑ及び波野来る、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○此夜、すゑ宿泊す、

十二日、午前、晴天、斂葬前日殯宮拜礼に宮中に赴く、○岸田繁次郎来訪す、○文科大学より使者来る、○午后、塩谷温、浦谷熊吉、相良益次郎、藤井健治郎来訪す、○Bergson, Creative Evolutionを読む、○夜、Bergson, Creative Evolutionを読む、○藤井健

治郎の「師範修身」を閲読す、

十三日、午前、半晴、遥拝式に大学に赴く、○「師範修身」を閲読し了る、○「明治天皇と明治の文明」日本及び日本人^{ニッポン}に出づ、○縫子、清子及び春枝を拉して青山に赴く、○詔書出づ、云く、朕遽に大故に遭ひ、哀矜已ます、前典を釋ねて恵沢を遠邇に洽かしめ、以て朕か罔極の哀を申へむことを念ひ、特に有司に命じて恩赦を行はむとす。百僚有衆其れ朕か意を体せよ。○慈恵救済の資として壹百万円頒賜せらる、○午后、書状を吉田静致に、葉書を藤井健治郎に送る、○大喪儀に青山に赴く、○夜、儀式に列し、十四日、午前三時に至つて帰途に就く、○乃木希典、全夫人自殺殉死、

十四日、午前、半晴、風強し、○浦谷熊吉、枝元長夫、渡辺忠吾来訪す、○電報を杉山直喜に送る、○中島善太郎より来状、○午后、乃木大将邸に赤坂に赴き、尋いで学習院女学部に赴く、○黒田侯爵邸より使者来る、○長江藤次郎より来状、○長江藤次郎、東亜協会々員となる、○「維新以来の徳育に就て」弘道に出づ、○文成社より談話筆記を送来る、○夜、相澤熙来訪す、

十五日、午前、雨天、津田雄三郎より来状、○浦谷熊吉、田中義能、来訪す、○衣笠醇来る、乃ち談話を筆記せしむ、○文成社の筆記を訂正す、○乃木大将に関する談話、諸新聞に出づ、○午后、藤井健治郎、吉田豊来訪す、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○「意志活動と自我概念」哲学雑誌に出づ、○井手百合子来る、有故不遇、○夜、和田雅夫来る、乃ち談話を筆記せしむ、

十六日、午前、曇天、講義に大学に赴く、○吉江忠治郎より来状、○女中千代を齋藤基次郎宅に遣はす、○午后、阿部康藏、佐川市

助、井手百合子来訪す、○文科大学より来状、○杉山直喜より速記を送来る、○教科書会より書類来る、○夜、服部宇之吉より来状、○書状を境野哲及び阿部康藏に送る、○九鬼周造より来状、十七日、午前、曇天、齋藤精輔、「日本百科大辞典」第六巻を携来る、○杉山直喜より速記を送来る、○午后、渡辺某、古川黄一、深作安文、桑田芳藏来訪す、○書状を浦谷熊吉に送る、○弘道館及び文科大学より来状、○英爾を遣はして小谷重に書状と菓子とを送る、○夜、小谷重及び岸田繁次郎より来状、○荒浪市平来る、乃ち談話を速記せしむ、

十八日、午前、曇天、浦谷熊吉、峰間信吉来訪す、○服部宇之吉より来状、○乃木大将に関する談話、朝日新聞に出づ、○修養団員来談す、○午後、晴天、乃木大将の葬式に青山墓地に赴く、○帝國教育会より来状、○夜、澁澤栄一より来状、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○教科書会より書類来る、○夜半、荒浪市平より速記を送来る、

十九日、午前、晴天、Windelband, Geschichte der Philosophie を読む、○「師範修身」一百部及び「女子修身」一百部の奥附を金港堂に付与す、○玉木正之より来状、○研究、○午后、講義に大学に赴く、○無名氏より来状、○速記を訂正す、○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○夜、速記を訂正し、之を印刷所に送る、二十日、午前、半晴、秋山悟庵、長濱和吉郎及び修養団員某并に深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○紀平正美、岸田繁次郎、及び黒田侯爵邸より来状、○速記を訂正し、之を国民新聞社の使者に付与す、○在白国首府小林照朗より絵葉書来る、○五弓安二郎、東亜協会々員となる、○敬文館より「教育的美学」を送来る、

○午后、教授会に大学に赴く、○岸田繁次郎より来状、○不在中岩田僊太郎来訪す、○菓子志箱と香燐料と書状とを紀平正美に送る、○夜、速記を訂正す、○此日、乃木大将の墓に謁する者廿万人、廿一日、午前、晴天、井上健兒より来状、○平塚唯鳩来訪す、○森良三郎来談す、○講義に高等師範に赴く、○不在中鷹野勇雄来訪す、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午後、英爾を遣はし、文部省に検定試験の成績と問題とを送る、○坂巻登介来訪す、○「国民道德概論」を中島力造に送る、○夜、平塚唯鳩より新聞を送来る、○新聞を平塚唯鳩に送返す、○小雨、

廿二日、午前、小雨、大澤五郎外二名より来状、○花輪郡藏来る、乃ち談話を筆記せしむ、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午后、雨天、書状を黒木安雄、玉利喜造に送る、○速記を訂正す、○夜、荒浪市平来る、乃ち談話を速記せしむ、○黒田侯爵邸より来状、○書状を黒木安雄に送る、○此日、文学社員来る、

廿三日、午前、晴天、暴風、○印刷所より「東亜の光」口絵を送来る、○Paulsen, System der Ethik 及び Georg Runze, Ethik 等を閲読す、○研究、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午后、森良三郎、岩田僊太郎来談す、○Höfding, Ethik を読む、○速記を訂正し、之を国民新聞社に送る、○夜、暴風漸く止む、○新井田次郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○「東亜の光」口絵解題を印刷所に送る、○David Hume, Of Suicide を読む、

廿四日、午前、晴天、浦谷熊吉来訪す、○Hume, Of Suicide 及び Zeller, Philosophie of Griechen を読む、○研究、○所得税金四拾參円七拾八錢及び府税市税金八円九拾四錢、合計五拾貳円七拾貳錢を区役所に納む、○黒田侯爵邸及び国民新聞社より使者来る、

○清子を三井銀行に遣はす、○書状を黒木安雄に送る、○午后、書状を文科大学に送る、○「教界春秋」を草す、○文科大学より来状、○書状を黒板勝美及び朝報社并に二六新聞社に送る、○運動に大塚方面に出づ、○夜、書状を鹿田静七に送る、○大倉書店より来状、○「教界春秋」を草す、

廿五日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○新井田次郎より速記を送来る、○齋藤義八、川島平五郎、升本喜久藏より来状、○国語調査会より「疑問仮名遣」を送来る、○元良勇次郎を私宅に訪ふ、○「大日本統藏経」を受取る、○「乃木大将雑感」国民新聞に、「乃木大将の経典」中外日報に出づ、○夜、英爾を宮崎道三郎宅に遣はす、○書状を升本喜久藏に送る、○「教界春秋」を印刷所に送る、○文部省より来状、○黒田侯爵邸より来状、

廿六日、午前、雨天、黒田侯爵邸より来状、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○浦谷熊吉、渡辺文三来訪す、○書状を黒木安雄に送る、○長尾折三より来状、○Zeller, Philosophie der Griechenを読む、○午后、引続きZellerを読む、○講義に大学に赴く、○素行追用会及び乃木大将追悼会に宗参寺に赴く、○添田敬一郎より来状、○夜、博文館の速記を訂正す、○原稿を博文館に送る、○Henri Bergson, Essai sur les données immédiates de la conscienceを読む、○月蝕、

廿七日、午前、晴天、谷内正順、渡辺政吉、原田稔甫、仲木貞一來訪す、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○在瑞西友枝高彦より絵葉書来る、○縫子、齒医者に赴く、○Bergson, Essai sur les données immédiates de la conscienceを読む、○黒田侯爵邸

より来状、○午后、金港堂より書状と「女子修身」原稿四冊とを送来る、○書状を長尾折三、添田敬一郎、谷内正順、黒木安雄、渡邊文三、小杉熙に送る、○森良三郎、大工と共に来る、乃ち之に金六百七拾八円六拾銭を付与したる、○巢鴨家屋式軒成る、○教科書会より来状、○運動に大塚及び小日向方面に出づ、○不在中湯本倉之助、葡萄を携来る、○夜、書状を今澤慈海に送る、○境野哲より来状、○英爾を宮崎道三郎に遣はす、○「女子修身」を訂正す、○宮崎道三郎より来状、

廿八日、午前、晴天、森良三郎、浦谷熊吉、小林文七、三大寺本紹、荻野仲三郎、井口越南来訪す、○一徳会より来状、○「女子修身」を訂正す、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午後、伊藤吉之助、速水湜来訪す、○黒田侯爵邸及び地方の一青年より来状、○書状を黒木安雄及び文成社に送る、○今沢慈海より来状、○Bergson, Essai sur les données immédiates de la conscienceを読む、○「女子修身」を訂正す、○夜、桑田芳藏の歓迎会に山上御殿に赴く、○玉利喜造及び長谷川小四郎より来状、

廿九日、午前、晴天、政教社及び黒田侯爵邸より来状、○松浦一、得能文、小谷重、藤懸静也、伊藤房次郎来訪す、○福井安次郎、三島復の紹介状を携来る、○黒木安雄の使者、詩稿を携来る、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午后、曇天、中村泰治来訪す、○黒田侯の詩稿を閲読す、○運動に巢鴨に赴く、○不在中小西重直来訪す、○夜、黒田侯の詩稿を閲読す、○「女子修身」を訂正す、○此日、中華民国記念日、三十日、午前、雨天、講義に大学に赴く、○「女子修身」を訂正す、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○鹿田静七より「皇位継承

篇」及び「縮臨古本論語集解」を送来る、○午后、「東亜の光」(七十)成る、○岸田繁次郎より「東亜の光」拾部を送来る、○浦谷熊吉、森良三郎、来訪す、○仲木貞一来る、乃ち談話を筆記せしむ、○中島利一郎来る、乃ち之に詩稿を付与す、○座親玄山より来状、○夜、哲学会に赴く、○晴、○此日、三省堂及び弘道館より印税を送来る、○「思想の系統上より見たる乃木大将」東亜の光に出づ、○玉利喜造、永沼賢海、東亜協会々員となる、

十月

一日、午前、晴天、「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○石川越夫より来状、○「国民道德概論」の広告、新聞に出づ、○小西重直、岸田繁次郎来訪す、○「女子修身」を訂正す、○文学士内藤智秀、東亜協会々員となる、○午后、「乃木大将と宗教」京城日報に、「先帝陛下の御聖徳と国民教育」教育の実際に出づ、○Bergson, Essai sur les données immédiates de la conscience を読む、○南摩先生建碑委員より来状、○英爾を三井銀行に遣はす、○夜、丁未倶楽部に青年館に赴き、「乃木大将を憶ふ」を演述す、聴衆約一千数百人、○吉田庫三より来状、

二日、午前、小雨、黒田家及び婦一協会より来状、○学習院に赴く、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○午后、黒木安雄より来状、○書状を黒木安雄及び黒田侯爵に送る、○文成社より使者来る、○「女子修身」を訂正す、○夜、斯文学会に赴く、関義臣、末松謙澄、坂谷芳郎、石黒忠恵等と会見す、○此日、不在中井上泰岳来訪す、

三日、午前、曇天、黒田家より来状、○「乃木大将及夫人の殉死に就いて」婦人画報に出づ、○書状を黒木安雄に送る、○吉田雪子、

浦谷熊吉来談す、○縫子、齒医者に赴く、○Zeller, Philosophie der Griechen 及び Windelband, Geschichte der Philosophie を読む、○「乃木大将の人格」成功に出づ、○黒木安雄より来状、○午后、講義に大学に赴く、○佐藤久次郎より来状、○書状を黒田侯爵に送る、○「女子修身」第一巻を読了す、○女中きよ病む、○夜、雨天、諸雑誌を読む、

四日、午前、晴天、修養団より来状、○「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○加藤駒二来る、乃ち之に「女子修身」第一巻を付与す、○書状を吉田庫三及び国民新聞社に送る、○教育実務社より使者来る、○日本学会の案内状を小藤文次郎、箕作元八、丹波敬三に送る、○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○午后、金四円六拾四銭を鹿田静七に送る、○電話使用料金拾六円五拾銭を郵便局に納む、○引続き○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○桑原隲藏より松茸志籠を送来る、○浦谷熊吉来談す、○三上參次を史料編纂掛に訪ふ、○夜、興学会に山上御殿に赴く、○増田篤信及び高松昌英より来状、○「倫理と修養」帝国教育に出づ、○「女子修身」を訂正す、

五日、午前、晴天、「乃木大将雑感」国民新聞に出づ、○中村長来談す、○高等師範に講義に赴く、○縫子を三井銀行に遣はす、○桑田芳藏より書状と菓子箱とを送来る、○午后、芝区教育会に台町小学校に赴き、「乃木大将と国民教育」を演述す、○黒須龍太郎、小松崎茂助、土方篠三郎(区長)、田邊頼眞、遠山椿吉(医学博士)、細野順等と会見す、○夜、日本学会に大学内学生第一集会所に赴く、○帝国学士院、教科書会及び中村長より来状、○「朱子哲学」一百部の奥附を富山房に付与す、○鈴木梅四郎より

来状、○辻本卯藏、「実践倫理学」を携来る、○此日、穂積八束
逝く、享年五十三、

六日、午前、晴天、吉田豊、及び教科書会より来状、○鈴木梅四郎
より「平和的世界統一政策」を送来る、○荒浪市平の代理速記者
来る、乃ち談話を速記せしむ、○坂本勲、楠山正雄、根本通徳、
浦谷熊吉、小林文七、堀謙徳、飯島忠夫、四宮兼之来訪す、○午后、
「中学修身」九百部の奥附を文学社に付与す、○書状を桑田芳藏、
桑原隣藏及び座親玄山等に送る、○井上俊雄より来状、○学生の
答案を読む、○夜、雨天、吉田夫妻来談す、○書状を文科大学に
送る、

七日、午前、晴天、穂積八束の訃報来る、○検定試験の答案を文部
省に返す、○講義に大学に赴く、○坂本勲より来状、○黒田家よ
り詩稿を送来る、○正午撰氏廿六度、暖気如夏、○午后、水津謙
介来る、有故不遇、○楠山正雄、田邊頼眞、四宮兼之来訪す、○
田代病院に赴き、元良勇次郎の病状を訪ふ、○速記の序文を荒浪
市平に送る、○「女子修身」を訂正す、○書状を黒木安雄に送る、
○文科大学より来状、○夜、Zeller, Philosophie der Griechen を
読む、○文部省より来状、○「女子修身」を訂正す、

八日、午前、晴天、吉田熊次より来状、○櫻村才介、浦谷熊吉、桑
田芳藏来訪す、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、
○吉田熊次より押田三郎の写真を送来る、○午后、教授会に赴く、
○春山育次郎、宇野哲人来訪す、○不在中小杉熙、薬師寺庄之助、
岸田繁次郎来訪す、○黒田家より二回来状、○根本通徳より原稿
を送来る、○阿部康藏より書状と「国民道徳叢書」とを送来る、
○夜、Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○小川瀧一郎、

磯江潤、文科大学及び黒田家より来状、○此日、黒山国対土、其
開戦、

九日、午前、晴天、黒田家より来状、○学習院に赴く、○午后、雨天、
穂積八束の葬式に染井墓地式場に赴く、○大日本仏教全書二冊を
送来る、○英爾を独逸協会学校に遣はす、○Bernhard Rawitz,
Der Mensch を送来る、○Zeller, Philosophie der Griechen を読
む、○夜、林平馬來訪す、○研究、引続き、Zeller を読む、○「女
子修身」を訂正す、

十日、午前、曇天、長谷場文相及び中村弥一郎等より来状、○大島
直治より「倫理哲学」を送来る、○花見喜代次、森良三郎来談す、
○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○午后、魚田良彰、
大谷嘉兵衛の紹介状を携来る、○講義に大学に赴く、○夜、帰一
協会に上野精養軒に赴く、○元良勇次郎の病状を田代病院に訪ふ、
○日本弘道会、博文館、黒田家及び国基会より来状、○此日、齋
藤志げ子来訪す、○文学士富山知海、東亜協会々員となる、

十一日、午前、曇天、黒田家より来状、○山岸光宣、玉利庄次郎、
岸田繁次郎来訪す、○瀧田哲太郎来る、乃ち談話を筆記せしむ、
○「努力と成功」日本青年に出づ、○四宮兼之来談す、○理学
士本田親二、東亜協会々員となる、○午后、文明協会より「欧
米人の極東研究」及び「不老長寿論」とを送来る、○浦谷熊吉
来談す、書状を魚田良彰及び石川越夫等に送る、○岸田繁次郎
より菓物壺籠を送来る、○黒田侯の詩稿を黒木安雄に送る、○
「乃木大将追悼演説大要」中外日報に、「歌にあらはれたる日本の
通」若竹に出づ、○「女子修身」第二巻を訂正し了る、○夜、修
養団より速記者来る、乃ち談話を速記せしむ、○林平馬來訪す、

○富田春山より来状、○「女子修身」を訂正す、○雨、○「中朝事実」を読む、

十二日、午前、晴天、松浦伯爵及び石川越夫より来状、○金港堂より使者来る、乃ち之に「女子修身」第二巻を付与す、○下総松戸より電報来る、○Henri Bergson, Essai sur les données

immédiates de la conscience を読む、○縫子、齒医者に赴く、○午后、乃木大将追悼会に学習院に赴く、○夜、帝国学士院に赴く、○石川越夫及び小川瀧一郎より来状、○不在中宮崎彦磨、特別製の「国民道徳概論」を携来る、○枘田秀乘、菓子を携来る、

十三日、午前、晴天、素行会より原稿を送来る、○小林義則、浦谷熊吉、埜口徳太郎、島信次、後藤武男来訪す、○「国民道徳概論」一千部の奥附を三省堂に付与す、○角田幸吉来る、乃ち共に松戸に赴く、○午后、郡会議事堂に於て「教育」上より見たる、乃木大将」を演説す、聴衆約三百名、○古賀治人、石川越夫、加瀬幸之助、熊田淳、加藤左文治等と会见す、○井口丑二と共に上野に帰る、○夜、七時頃帰宅、○不在中修養団員来訪す、○文学社の「中学修身」を訂正す、

十四日、午前、講義に大学に赴く、○「女子修身」壹百部の奥附を金港堂に付与す、○伊澤修二より書状と「教界周遊前記」を送来る、○午后、石川越夫、小杉熙来訪す、○玉利庄次郎来る、乃ち談話を筆記せしむ、○黒田侯爵より来状、○夜、文科大学より来状、○黒木安雄より詩稿を送来る、○中央報徳会及び黒田侯爵より来状、○原稿を修養団に送る、○文学社の「中学修身」巻一を訂正し了る、

十五日、午前、晴天、小林義則来る、乃ち之に「中学修身」第一巻

を付与す、○書状を黒木安雄に送る、○原儀平の追試験を哲学研究室に行ふ、○文学社の「中学修身」巻二を訂正す、○午后、黒田侯爵より二回来状、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記せしむ、○「国民道徳概論」を小川瀧一郎に付与す、○書状を貞金近松及び黒木安雄に送る、○夜、文学社の「中学修身」巻二を訂正し了る、○黒田公の詩稿を閲読す、○文学社の使者来る、乃ち之に「中学修身」巻二を付与す、○「中朝事実」を読む、

十六日、午前、晴天、岩田徳太郎より来状、○玉利庄次郎より筆記を送来る、○学習院に赴く、○乃木大将夫妻の写真を女学部より受取る、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○黒田家より来状、○書状を黒木安雄及び藤井健治郎に送る、○夜、玉利庄次郎の筆記を訂正す、○原稿を玉利庄次郎に送る、○「中朝事実」を読む、○此日、大谷嘉兵衛より来状、

十七日、午前、晴天、杉山直喜より速記を送来る、○黒田侯爵より来状、○浦谷熊吉、中島泰藏来訪す、○文学社の「中学修身」巻三を閲読し了る、○「乃木大将と武士道」弘道に出づ、○「女子修身」巻三を訂正す、○家族一同文展及び拓殖博覧会に赴く、○金六円六拾式銭を目黒書店に送る、○午后、大久保隆之助来る、乃ち談話を筆記せしむ、○杉山直喜来る、乃ち談話を速記しむ、○「女子修身」を訂正す、○速記を訂正す、○写真を修養団員に付与す、○夜、速記を訂正す、○小石川郵便局より来状、○大久保隆之助より筆記を送来る、

十八日、午前、曇天、大原孫三郎より来状、○四宮兼之、深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○中島利一郎来る、乃ち之に黒田侯の原稿を付与す、○縫子、齒医者に赴く、○速記を訂正す、○

文学者の使者来る、乃ち之に「中学修身」巻三を付与す、○森良三郎来談す、○午后、速記を訂正す、○研究、○浦谷熊吉より来状、○夜、原稿を日清印刷会社、大久保隆之助及び花田仲之助に送る、○目黒書店より「考信録」三巻を送来る、

十九日、午前、晴天、大学より「大日本古文書」を送来る、○加藤駒二来訪す、乃ち之に「女子修身」二冊を付与す、○講義に大学に赴く、○午后、修養団支部に慶應義塾に赴く、○鎌田栄吉、澁澤栄一、福本誠等と会见す、○村瀬英郎及び竹生太郎吉より来状、○夜、吉田雪子来談す、○詩稿を閲読す、

二十日、午前、晴天、小林文七、三上義夫、齋藤栄、平塚唯鳩、岡田隆清、加藤淳一郎、加藤宏二郎、浦谷熊吉、吉田熊次来談す、○在伯林の若守義孝より絵葉書来る、○午后、書状を澁澤栄一に送る、○拓殖博覧会に赴く、澁沢栄一と遭遇す、○折田彦市より来状、○齋藤基次郎より香魚を送来る、○玉利喜造より「内観的研究」を、岩田僊太郎より「師範修身」巻三を送来る、○島信次来訪す、○根岸福弥より来状、○夜、書状を折田彦市に送る、

廿一日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○文学社員来る、○午后、根本通徳来訪す、○孔子誕辰会に大学山上御殿に赴く、三嶋毅、小牧昌業、横井忠直、菊池晋二、澁澤栄一、坂谷芳郎、等と会见す、○帝国学士院、教員検定委員会等より来状、○夜、九時半頃帰宅、○此日、浦谷ふみ来る、乃ち之に詩稿を付与す、

廿二日、午前、晴天、塩谷温、景教碑文紀事攷正を携来る、○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○縫子、清子と共に青山葬場殿及び乃木大将の墓に謁す、○午后、春山有次郎、山中太郎、九鬼周造、齋藤精輔及び文学社員来訪す、○中島利一郎、神宮奉

齋会石手支部及び Sidney L. Gulick より来状、○引続き、Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○夜、有馬祐政来訪す、

廿三日、午前、曇天、学習院に赴く、○午后、貞金近松来訪す、○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○婦一協会より来状、○運動に小日向方面に出づ、○夜、Zeller を読む、○

廿四日、午前、半晴、研究、○Zeller, Grundzüge der Geschichte der griechischen Philosophie を読む、○午后、講義に大学に赴く、○帰途横山又次郎と同行す、○読売新聞記者来訪す、○加藤玄智来る、不遇、○夜、吉田夫妻来談す、○文成社より来状、○Zeller, Philosophie der Griechen を読む、○英爾を浦谷熊吉宅に遣はす、○「中朝事実」を読む、

廿五日、午前、雨天、浦谷熊吉、伊藤房太郎、野中貞来訪す、○三省堂に関する談話、読売新聞に出づ、○午后、「大日本続蔵経」二套を受取る、○「東亜の光」口絵解題を印刷所に送る、○冷氣撰氏拾四度、○高桑駒吉、日本通史とビール壺打を携来る、○松浦伯爵及び黒田侯爵より来状、○「教界春秋」を草す、○夜、引続き「教界春秋」を草す、

廿六日、午前、晴天、「教界春秋」を印刷所に送る、○文部省美術展覧会に上野竹ノ台に赴く、○午后、教科書会より来状、○木村鷹太郎来訪す、○学習院女学部に赴く、○夜、美学研究会に山上御殿に赴く、○岡島誘より来状、○此日、清子、押田三郎と見合の為に吉田宅に赴く、○植田弥吉夫妻来訪す、○パーシバル飛行機、東京市上を航過す、○山口英爾去る、

廿七日、午前、晴天、福井安太郎、豊田臻、増田隆清、加藤淳一郎、辻本卯藏、根本通徳、文学社員来訪す、○午后、哲学会に大学に

赴く、○不在中、笹川種郎及び渡邊信康来訪す、○日本弘道会より来状、○書状を岡島誘に送る、○夜、書状を黒木安雄、村瀬英郎、佐藤新次に送る、○素行会の速記を訂正す、

廿八日、午前、曇天、日本弘道会より来状、○講義に大学に赴く、○午后、素行会の速記を訂正す、○岸田繁次郎、笹川種郎、土屋新之助、岩崎歌郎、谷内正順来訪す、○文学社の「中学修身」を訂正す、○夜、素行会の速記を訂正す、○丹羽瀧男来る、乃ち談話を速記せしむ、○文科大学より来状、○此日、伊東尾四郎より「福岡県先賢贈位者略伝」を送来る、○不在中吉田雪子来る、○雨、廿九日、午前、曇天、伊藤肇より来状、○印旛郡教育会より書状と印刷物とを送来る、○「教育に関する談話」、読売新聞に出づ、○浦谷熊吉来談す、○文学社の使者来る、乃ち之に原稿を付与す、○吉田熊次より桃山御陵の絵葉書来る、○Zeller, Philosophie der Griechen 及び Grundzüge der Geschichte der griechischen Philosophie を読む、○北原種忠より来状、○文学社の使者又来る、○乃ち之に原稿を付与す、○午后、引続き Zeller を読む、○寛克彦より「古神道大義」を送来る、○小林義則より来状、○縫子清子と共に文展及び歯医者に赴く、○夜、富田春山より来状、○文学社員来訪す、○Höffding, Psychologie in Umrissen を読む、○鶴山保勝会より来状、

三十日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、文科大学の教授会に山上御殿に赴く、○黒田家より来状、○印旛郡教育会より再び「国民道徳」を送来る、○「大正の希望」大阪毎日新聞に出づ、○「東亜の光」(七の十一)成る、○岸田繁次郎より「東亜の光」拾部を送来る、○「自殺の可否如何」東亜の光に出づ、○夜、四谷弘

道会支会に赴き、「国民教育の前途」を演述す、○玉利喜造より来状、

卅一日、午前、雨天、研究、○Zeller, Grundzüge der Geschichte der griechischen Philosophie 及び其他哲学史類を読む、○大森金五郎より来状、○午后、講義に大学に赴く、○「大正の希望」大阪毎日新聞に出づ、○夜、書状を貞金近松及び黒木安雄に送る、○在旅順の秋本雙一より絵葉書来る、○大久保高明、小松原英太郎の書状を携来る、

十一月

一日、午前、晴天、書状を浦谷熊吉及び日柳政惣に送る、○浦谷熊吉来談す、○仏書刊行会より「蔭涼軒日録」「谷響集」及び「空華談叢」を送来る、○素行会の速記を訂正す、○明治保険会社員大島良策来る、○縫子、吉田宅に赴く、○午后、速記を訂正す、○「古事類苑」(地部一)を送来る、○夜、帰一協会に上野精養軒に赴く、○此日、井上道喜来訪す、

二日、午前、晴天、講義に高等師範に赴く、○大島良策来る、乃ち之に火災保険料金五拾円式拾銭を付与す、○午后、高等工業に赴き、修養団員の為に「偉人と同情」を演述す、○夜、素行会に松浦伯爵邸に赴く、○丹羽瀧男より速記を送来る、○「乃木大将の死に就いて」松陽新聞及び芸備日々新聞に出づ、○加藤駒二より書状と原稿とを送来る、○教科書会より書類来る、○教員検定委員会より答案を送来る、○「現今の自殺問題に就いて」新日本に出づ、○岩田僊太郎より来状、

三日、午前、晴天、書状を岩田僊太郎に送る、○星野恒の使者、書状を携来る、○東洋協会専門学校に赴き、一場の講演をなし、明

治天皇を追悼す、○松平親信より「梅園全集」を送来る、○午後、星野恒の使者来る、乃ち之に書状を付与す、○渡辺白水、増田義一の書状を携来る、○「大正の希望」大阪毎日新聞に出づ、○書状を松平親信、齋藤甲花に送る、○「女子修身」を訂正す、○夜、「女子修身」を訂正す、○八田知紀の「志のぶ草」を購入す、○速記を訂正して之を同文館に送る、

四日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○速記を訂正す、○金港堂の使者来る、乃ち之に「女子修身」巻三を付与す、○和田六二郎、小野田亮正、小野秀雄来訪す、○穂積陳重より Lectures On The New Japanese Civil Code 及 Ancestor-Worship and Japanese Law を送来る、○富山房より御礼を送来る、○宮坂喆宗より絵葉書を送来る、○午后、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○北浦大介、岩田僊太郎の紹介に因つて来る、○岩田僊太郎来談す、○運動に小日向方面に出づ、○夜、速記を訂正す、○「大正の希望」大阪毎日新聞に出づ、○吉田夫妻来談す、○清子縁談の事、肯定的に返答をなす、

五日、午前、晴天、鹿兒島報徳会より来状、○書状を穂積陳重、稲葉脩敬、貞金近松及び鹿兒島報徳会に送る、○竹生太郎吉より来状、○午后、検定試験の答案を読む、○江口瀧次郎より来状、○書状を貞金近松に送る、○峰間信吉来訪す、○帝国学士院より来状、○夜、原稿を竹生太郎吉に送返す、○素行会の速記を訂正す、○「大正の希望」大阪毎日新聞に出づ、○金港堂より書状と「女子修身」巻四を送来る、○「女子修身」を訂正す、○文部省より書類を送来る、

六日、午前、雨天、村岡素一郎より「洙泗聖教講義録」を送来る、○「女

子修身」を訂正す、○吉田静致、試験点数を携来る、○川島平五郎より書状と「足利学校釈奠講演筆記」とを送来る、○午后、藤田福次郎来訪す、○検定試験の点数会議に山上御殿に赴く、○文部省より使者、書状を携来る、○帰途元良勇次郎宅を訪ふ、○横山隆俊及び島守定正より来状、○吉田雪子来談す、○「女子修身」を訂正す、○夜、金港堂員来る、乃ち之に「女子修身」を付与す、○原稿を松浦伯爵邸に送る、○書状を横山隆俊に送る、○升本喜久藏より来状、○「中朝事実」を読む、

七日、午前、晴天、文部省に赴き、修身科検定本試験を行ふ、○午后、四時半頃試験を結了す、○不在中小林庄次郎、御礼の為に来る、○文学社より「中学修身」五冊を送来る、○荻野伸三郎より来状、○吉田豊吉来訪す、○夜、「中朝事実」を読む、○教科書会より来状、○此日、小林文七来訪す、

八日、午前、晴天「中朝事実」を読む、○姉崎袖子、小林文七、岩橋遵成、浦谷熊吉来訪す、○原田理一より来状、○「人生の意義」向上に出づ、○岸田繁次郎より来状、○午后、教科書会に文部省に赴く、○不在中岸田繁次郎来訪す、○「中朝事実」を読む、○夜、岸田繁次郎来訪す、○梅本俊次、小笠原節郎、東亜協会々員となる、○「中学修身」を訂正す、○大久保高明、御礼の為に来訪す、

九日、午前、曇天、岡島誘及び拓殖博覧会より来状、○松浦伯爵邸より使者、書状を携来る、乃ち之に返書を付与す、○「中朝事実」を読む、○午后、教科書会に文部省に赴く、○夜、松浦伯爵の招燕に上野精養軒に赴く、○山鹿高三、近藤少佐等と会見す、○縫子、拓殖博覧会に赴く、○中島利一郎より来状、○不在中岸田繁

次郎来訪す、○此日、農商農務大臣牧野伸顯、臨時兼任文部大臣、
○中央報徳会及び高等師範より来状、

十日、午前、晴天、浦谷熊吉、藤井甚太郎、岡田隆清、加藤淳一郎、
紀平正美来訪す、○午后、東亜協会秋季大講演会に大学に赴く、
群衆約一千余名、○夜、東亜協会評議員会を第一学生集会所に開
く、○小谷重より書状と原稿とを送来る、○穂積重威及び文芸協
会より来状、○江木衷より「国家道徳論」を送来る、

十一日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○犬塚岸三、葉山萬次郎
の紹介状を携来る、○午后、文科大学より来状、○文明協会より「欧
洲各国民の心性」及び「伊太利及び伊太利人」を送来る、○犬塚
岸三、久保勉、井上泰岳、田中次郎来訪す、○「女子修身」を訂
正す、○夜、田中次郎と会食す、○書状を黒木安雄に送る、

十二日、午前、晴天、黒木安雄より来状、○木村久一、浦谷熊吉来訪す、
○書状を岡島誘に送る、○Zeller: Geschichte der griechischen
Philosophie を読む、○文学社の使者来る、乃ち之に「中学修身」
巻を付与す、○金港堂の使者来る、乃ち之に「女子修身」巻四の
残部を付与す、○午后、青木昌吉より来状、○書状を升本喜久藏、
川島平五郎、大島健一に送る、○研究、○帝国学士院に赴く、○
夜、九時頃帰宅、○不在中須藤求馬来訪す、○教科書会より来状、
○「中朝事實」を読む、○此日、横浜に於て観艦式を行はせらる、
軍艦凡そ壹百十三隻、

十三日、午前、晴天、飯沼松枝より来状、○学習院に赴く、○午
后、教授会に山上御殿に赴く、○途上須藤求馬及び奈良女子高等
師範生に逢ふ、○「国民道徳概論」を穂積陳重に送る、○海老名
弾正来訪す、○Zeller: Philosophie der Griechen を読む、○夜、

勉強、○Zeller: Grundzüge der Geschichte der griechischen
Philosophie を読む、

十四日、午前、曇天、森良三郎来る、乃ち之に地租九円六拾貳銭を
付与す、○工学士押田三郎来る、○研究、○午后、帝国学士院よ
り使者来る、○講義に大学に赴く、○文科大学及び穂積陳重より
来状、○「中朝事實」を読了す、○書状を内ヶ崎作三郎に送る、
○夜、教科書会より来状、○小学読本稿本を読む、○雨、

十五日、午前、晴天、小石川郵便局より来状、○富塚愼、川島平五
郎、浦谷熊吉、水津謙介、五明忠一郎、犬塚岸三、秋山悟庵来訪す、
○家屋税拾参円九拾八銭を郵便局に納む、○午后、教科書会に文
部省に赴く、○不在中黒田家の使者、詩稿を携来る、○Sidney L.
Glückより書状と原稿と送来る、○夜、杉山直喜来る、乃ち之
をして談話を速記せしむ、○高等師範より来状、

十六日、午前、晴天、書状を岡島誘に送る、○伊藤吉之助来訪す、
○哲学者の写真拾八枚を帝国大学に寄贈す、○縫子、吉田及び姉
崎宅に赴く、○清子を東海銀行に遣はす、○内ヶ崎作三郎より来
状、○大槻文彦より「日本地理志料」を送来る、○午后、書状を
黒田家及び高等師範に、詩稿を黒木安雄に送る、○吉田雪子、相
原熊太郎来訪す、○日本弘道会より御礼を送来る、○岩橋遵成亦
来る、○夜、心理学会に赴く、○帝国学士院より来状、

十七日、午前、晴天、八時出門、九時上野出發、汽車にて弁当を使
ふ、○午后、零時三十分高崎市着、岡島誘等三名来迎す、○中学
校に赴き、校長伊藤肇と会見し、尋いで生徒の為に「人生と修養」
を演述す、○西洋料理店に会食す、○五時二十分出發す、車中桑
田熊藏と会見す、○夜、九時頃帰宅、○不在中、田中次郎妻、結

納物品を携来る、乃ち又之に結納物品を委託す、○田中義能、岸田繁次郎等来訪す、○晩成処より「初等勸語」を送来る、

十八日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○押田家より受納書を送来る、○釈義堂来訪す、○午后、原宗智、秋山悟庵、根本通徳、犬塚岸三、内ヶ崎作三郎来訪す、○速記を訂正す、○齋藤謙藏より来状、○夜、文科大学及び伊藤肇より来状、○速記を訂正す、○此日、縫子、清子を拉して有楽座に赴く、

十九日、午前、雨天、秋山悟庵来る、乃ち之に原稿を付与す、○勉強、○波野来談す、○午后、書状を黒田邸に送る、○姉崎袖子来談す、○夜、桑田芳藏来訪す、○教科書会より書類来る、○「東亜の光」の原稿を訂正す、○此日、縫子、清子を拉して買物に外出す、

二十日、午前、晴天、留岡幸助及び成功雑誌社等より来状、○講義に学習院女学部に赴く、○午后、文科大学の使者来る、乃ち之に書類を付与す、○木村繁雄来訪す、有故不遇、○勉強、○浦谷熊吉来談す、○夜、帝国学士院及びマニユファクチュラス生命保険会社より来状、○Zeller, Grundzüge der Geschichte der griechischen Philosophie を読む、

廿一日、午前、半晴、黒田邸より詩稿を送来る、○詩稿を黒木安雄に送る、○加藤駒二来訪す、○勉強、○Zeller, Grundzüge der Geschichte der griechischen Philosophie を読む、○川島平五郎及び国民新聞社より来状、○午后、講義に大学に赴く、○書状を黒田邸に送る、○夜、雑誌類を読む、○文部省及び土方寧等より来状、○村岡良弼の「日本地理志料」及び「続日本後紀纂註」を検閲す、○湯本武比古及び竹生太郎吉より来状、

廿二日、午前、雨天、伊藤吉之助、谷内正順、浦谷熊吉、岸田繁次郎、

深作安文、原宗智来訪す、○押田三郎来談す、○清子、結婚の日を十二月十五日と確定す、○三省堂より「国民道徳に關する講演」を送来る、○午后、帝国学士院の委員会に山上御殿に赴く、○穂積重威及び松尾神社々務所より来状、○夜、小林文七及び哲学会より来状、○詩稿を黒木安雄に送る、○谷内正順の原稿を訂正す、

廿三日、新嘗祭、午前、雨天、谷内正順の原稿を訂正す、○午后、半晴、辻本卯藏来談す、○「師範修身」壹百部の奥附を金港堂に付与す、○乃木大将の真筆を伊藤肇に送る、○藤井健治郎より来状、○書状を岩田僊太郎に送る、○谷内正順の原稿を訂正す、○福岡県教育会長由布惟義より来状、○「東亜の光」口絵解題を日清印刷会社に送る、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○夜、引続き、Zeller を読む、

廿四日、午前、曇天、堀謙徳、「解説西域記」を携来る、○研究、○午后、哲学会に大学に赴き、「聖人と哲人」を演述す、聴衆約三百名、○夜、山上御殿に会食す、○「教界春秋」を草す、○松浦伯爵より来状、○此日、香奠を浦谷熊吉に送る、○井上成美夫妻来訪す、○齋、

廿五日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○地租式円七拾六錢五厘を郵便局に納む、○出来麦郎より来状、○女中千代を大学に遣はす、○不在中木村繁雄来訪す、○午后、山田卯一郎来訪す、○龍居松之助、東京音楽学校及び日之出生命保険会社より来状、○「大日本統藏経」第二十三套を受け取る、○「教界春秋」を草し、之を日清印刷会社に送る、○谷内正順の原稿を訂正す、○夜、曇天、弘道館より「梅園全集」巻下を送来る、○林源十郎及び文科大学より来状、○谷内正順の原稿を訂正す、○伊藤吉之助来訪す、

○「明治天皇陛下の御人格」東洋時報に出づ、○和田六次郎来る、此日、陸軍大将大迫尚敏、学習院々長となる、

廿六日、午前、晴天、伊藤肇より来状、○三上義夫より書状と論文とを送来る、○「乃木大将と国民教育」小学校に出づ、○書状を由布惟義に送る、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○縫子、菓子を携へて田中次郎宅を訪ふ、○午后、曇天、前田弘二、浦谷熊吉、姉崎益子、来訪す、○引続き、Zeller を読む、○哲学会より来状、○運動に大塚及び小日向方面に出づ、○夜、引続き、Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○帰一教会、金港堂及保険会社より来状、

廿七日、午前、晴天、学習院に赴く、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○座親玄山及び教科書会より来状、○不在中姉崎袖子来訪す、○岸田繁次郎及び龍居松之助来訪す、○蓮沼門三、東亜協会々員となる、○夜、金港堂より使者来る、乃ち原稿を付与す、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○研究、○此日、「明治天皇御大喪儀写真帖」を購入す、

廿八日、午前、晴天、押田三郎及び境野哲来訪す、○所得税金四拾参円七拾五銭、府税市税八円九拾四銭、市水道料八円九拾九銭合計金六拾円八拾八銭を郵便局に納む、○勉強、○午后、講義に大学に赴く、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○夜、伊藤吉之助来訪す、○引続きZeller を読む、

廿九日、午前、晴天、田中米作、小林文七来訪す、有故不遇、○渡瀬三郎、武藤儀亮、井上道喜、犬塚岸三、浦谷熊吉来訪す、○道喜と会食す、○吉田雪子来談す、○午后、岸田繁次郎来談す、○書状を川島平五郎に送る、○Zeller, Die Philosophie der

Griechen を読む、○夜、引続きZeller を読む、○「東亜の光」(七の十二)成る、○「日本絵画の将来」東亜の光に出づ、○蓮沼門三及び其他より来状、

三十日、午前、講義に高等師範に赴く、○三澤糾に高等師範に逢ふ、○午后、森良三郎来る、○高田の学習院に赴く、○暁星学校及び正気会より来状、○清子を三井銀行に遣す、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○夜、引続きZeller を読む、○金港堂より使者来る、○吉田夫婦来訪す、○豊田臻より来状、

十二月

一日、午前、晴天、田中義能、根本通徳、得能文、木村繁雄、清水谷善照来訪す、○文成社より使者来る、○穂積重威より「憲法制定之由来」を送来る、「日本国民の強点弱点」中央公論に、「修養の道」向上に出づ、○縫子、雪子清子と共に買い物に外出す、○午后、Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○書状を富田春山及び押田三郎に送る、○運動に大塚方面に出づ、○夜、引続きZeller を読む、

二日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○三好学及び中島徳蔵を訪ふ、○川島平五郎より来状、○不在中浦谷熊吉来訪す、○午后、浦谷熊吉、谷内正順来訪す、○清水谷善照来る、乃ち之に談話を筆記せしむ、○高津巳之松、北原種忠の紹介状を携来る、○女中きよを遣はして「親族書」を押田三郎に送る、○反省社主鹿田時之助より書状と洋酒二本を送来る、○Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、○「大日本仏教全書」を送来る、○夜、Zeller, Die Philosophie der Griechen を読む、

三日、午前、晴天、吉田熊次より来状、○岩崎歌郎来訪す、○

- Zeller. Die Philosophie der Griechen を読む、○書状を川島平五郎に送る、○昨日来西園寺内閣瓦解、○午后、引続きZellerを読む、○床屋に赴く、○古川黄一、「武功雜記」を携来る、○教科書会より来状、○勉強、○夜、帰一協会及び帝国学士院より来状、○賞勲局より来状、○勉強、
- 四日、午前、晴天、学習院に赴く、○不在中笹川老母来訪す、○文学社より「中学修身」巻五を送来る、○経済雜誌社より「人名辞書」増補之部を送来る、○午后、「工業之日本社」及び「心理学通俗講話会」等より来状、○勉強、○雜誌類を読む、○牟田眞来訪す、○夜、式部職より来状、○米国より The Oriental Review を送来る、○教科書会より書類来る、○勉強、○Zeller. Die Philosophie der Griechen を読む、○渡部董之介より来状、
- 五日、午前、晴天、勉強、○浦谷熊吉及び森良三郎来る、○本居豊穎より来状、○縫子、清子と共に買物に外出す、○西園寺首相愈々辞表を捧呈す、○「女子修身」五百部の奥附を金港堂に付与す、○午后、講義に大学に赴く、○不在中吉田豊吉妻、菓物籠を携来る、○姉崎老母、祝物を携来る、○宮崎道三郎より来状、○「中学修身」を訂正す、○帝国学士院より来状、○夜、高津常山来訪す、有故不遇、○「中学修身」を訂正す、○此日、益之進少しく軽快、○此頃政界騷擾、
- 六日、午前、半晴、黒田侯爵及び川田鏡弥より来状、○常盤大定より蒲鉾と書状とを送来る、○岸田繁次郎、押田三郎、永藤善一郎、高津巳之松来訪す、○午后、書状と「山鹿素行先生」とを齋藤謙藏に送る、○書状を川田鏡弥に送る、○黒田侯の詩稿を黒木安雄に送る、○民友社より「中朝事実」と「修身受用抄」とを送来る、
- 浦谷ふみ、半襟を携来る、○縫子、買物に外出す、○夜、木川忠一郎来る、乃ち談話を速記せしむ、○黒田家より二回来状、○齋藤省三及び帝国学士院より来状、
- 七日、午前、曇天、野田義夫より銘仙壺反を送来る、○黒田侯の詩稿を黒木安雄に送る、○小林文七来る、有故不遇、○「中学修身」を訂正す、○浦谷熊吉来談す、○使者を遣はして贈物を齋藤志げに送る、○午后、文学社の「中学修身」巻五を訂正し了る、○星野恒より来状、○齋藤省三より贈物二品を送来る、○三好学来訪す、○運動に白山方面に出づ、○谷内正順の原稿を訂正す、○夜、小林儀則来る、乃ち之に「中学修身」巻五を付与す、○引続き原稿を訂正す、○此日、森良三郎終日来居す、○政界の風雲不穩なり、
- 八日、午前、晴天、富田春山より来状、○高津巳之松、清原徳次郎、補永茂助来訪す、○井上健兒より博多織帯地を送来る、○谷内正順の原稿を訂正す、○森治藏の訃報至る、○木川忠一郎より速記の壺部を送来る、○午后、谷内正順の原稿を訂正す、○永藤善一郎来る、乃ち談話を筆記せしむ、○文成社の使者、書状二通を携来る、○書状を谷口喜太郎に送る、○結婚披露の招待状拾通を発送す、○金港堂の使者来る、乃ち之に原稿を付与す、○尾上八郎、井上道喜、齋藤志げ来訪す、○児輩一同、吉田宅に赴く、○富田順吉より反物壺反を送来る、○速記を訂正す、○夜、澁澤栄一より来状、○文成社員来る、乃ち談話を速記せしむ、○書状を浦谷熊吉に送る、○速記を訂正す、○結婚披露の招待状拾五通を発送す、○大槻文彦の審査報告を読む、
- 九日、午前、晴天、松本鷹治より来状、○講義に大学に赴く、○富田春山より反物を送来る、○磯江潤、歳暮の贈物として反物

を送る、○森良三郎、真綿を携来る、○Katherine Tingley より The Theosophical Path を送る、○午后、岩橋遵成来訪す、○清水谷善照筆記を携来る、○委員会に帝国学院テンプルに赴く、○辻新次より来状、○木川忠一郎より速記を送る、○Dr. Jacoby, Privatdozent der Philosophie an der Universität 来訪す、○夜、速記を訂正す、○同文館の速記者来る、乃ち談話を筆記せしむ、○文科大学より来状、○此日、不在中岸田繁次郎来訪す、十日、午前、晴天、西風寒し、○文成社及び素行会より来状、○雙葉会の Les dames de StMaur より贈物来る、○清水谷善照の筆記を訂正す、○東亜協会の速記を訂正す、○浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、○伯爵寺内正毅より「説文解字翼徴」六冊を送る、○午后、原稿を日清印刷会社ニッポンに送る、○「大日本統蔵経目録」を郵便局より受取る、○教科書会に文部省に赴く、○縫子、清子と共に齋藤省三及び志げ宅に赴き、帰途井上成美宅を訪ふ、○中島利一郎より来状、○文成社より筆記を送る、○夜、書状を黒木英雄に送る、○帝国学士院及び黒龍会より来状、○再び書状を黒木英雄に送る、○此日、井上成美より友禅壺反を送る、○原稿を清水谷善照に付与す、

十一日、午前、晴天、文成社より原稿を送る、○原稿を訂正して文成社に送る、○福来友吉より白絹壺反を送る、○書状を岸田繁次郎に送る、○田中館みね子、贈物を携来る、○午后、教授会に山上御殿に赴く、○元良勇次郎宅を訪ふ、○文科大学及び宗教学哲学研究会より来状、○文明協会より「過渡時代の婦人」及び「歐洲各国民の心性」を送る、○中島力造より「絶対論派現代の倫理学」を贈る、○書状を姉崎正治に送る、○佐藤金造より来状、○元良勇次郎より羽二重壺反を送る、○遠藤夏子、紋羽二重壺反を携来る、○夜、書状を押田三郎に送る、○勉強、

十二日、午前、晴天、金港堂より「女子修身」四冊を送る、○縫子買物に外出す、○吉田雪子、贈物を携来る、○山中隣之助より綿と書状とを送る、○勉強、○帝国学士院に赴く、○夜、八時半頃帰宅、○宮本和吉より書状と原稿とを送る、○吉田静致及び星野恒より来状、○齋藤基次郎より扇形の白縮面と黒襦子及び腰帯を送る、○山田陽朔より鯉節と紋羽二重壺匹を送る、

十三日、午前、晴天、押田三郎、浦谷熊吉外学生二名来訪す、○深作安文、贈物を携来る、○紀平正美及び藤井健治郎より各真綿を送る、○森栄子、松永静子および中村き子よりそれぞれ贈物あり、○日本学会の案内状拾通を発送す、○午后、三井銀行に赴く、○元良勇次郎昨夜九時四十分を以て長逝すとの報あり、○元良勇次郎宅を訪ふ、○臨時教授会に山上御殿に赴く、○文科大学より高橋里美の研究報告を送る、○縫子、清子と共に姉崎及び吉田宅に赴く、○使者を森隴外及び浦谷熊吉宅に遣はす、○夜、市澤弥一來る、乃ち談話を筆記せしむ、○此日、田中次郎より松魚箱を送る、

十四日、午前、晴天、富尾木知佳、陶器壺箱を寄贈す、○宮本和吉、岸田繁次郎妻来訪す、○樋口秀雄及び岸田繁次郎より各々贈物を齎らす、○岩橋遵成より蜜柑箱を送る、○書状を伯爵寺内正毅に送る、○上田萬年、芳賀矢一、中島力造、大島正徳より贈物を齎らす、○午后、安倍能成、「大思想家の人生観」を携来る、○姉崎袖子、笹川貞子、井上波野、吉田雪子来訪す、○長田花子、有坂某贈物を送る、○中島利一郎、御礼の為に來る、○押田三

郎来訪す、○夜、日本学会に赴く、○此日、中島徳藏より贈物を送る、

十五日、午前、雨天、落合寅平、松村義太郎より来状、○浦谷熊吉来訪す、○嫁入荷物七荷を押田三郎宅に送る、○田中次郎妻及び間千代来訪す、○午后、縫子、宣光及び春枝并に清子を拉して日比谷大神宮に赴き、清子と押田三郎との結婚式を行ふ、○夜、結婚披露の宴を築地精養軒に張る、来会者六拾八名、○八時半頃帰宅、○若松の大町氏より祝電来る、○大槻文彦より来状、○此日、

森良三郎をして留守番せしむ、○石原秀男、棟居喜九馬と会見す、十六日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○御花料を元良勇次郎宅に送る、○使者を押田三郎宅に遣はす、○根本通徳及び中島徳藏より来状、○午后、元良勇次郎の葬式に中央会堂に赴く、会葬者約一千人、○哲学会より会員名簿二冊を送来る、○井上道喜来談す、○「教界春秋」を草す、○夜、「教界春秋」を草し了りて之

を日清印刷会社に送る、○富尾木知佳及び山中隣之助より来状、十七日、午前、晴天、Zeller. Die Philosophie der Griechen を読む、

○古川黄一来訪す、○「乃木大将を追悼す」素行会記事に出づ、○福来友吉、御礼の為に来訪す、○午后、紀平正美、浦谷熊吉来訪す、○三樹一平、「仏教辞林」を携来る、○押田清子来談す、○Zeller. Die Philosophie der Griechen を読む、○夜、市澤弥一より筆記を送来る、○教科書会より書類来る、○教員検定委員会より来状、○筆記を訂正す、○藤田四郎より来状、

十八日、午前、晴天、講義に大学に赴く、○不在中文学社員、「中学修身」(巻五)を携来る、○大町美種より半襟と帯揚とを送来る、○丸善より歳暮として洋酒三瓶を送来る、○同文館より速記を送

来る、○午后、丁酉倫理会の筆記を訂正す、○縫子、元良勇次郎宅に赴く、○山田陽朔、御礼の為に来る、○原稿を中島徳藏に送る、○帝国教育会より来状、○夜、濱本信一と齋藤志げとの結婚披露会に築地精養軒に赴く、○不在中蠣瀬彦藏より祝儀として帯揚を送来る、○黒木安雄より黒田侯の詩稿を送来る、○塚原政次より来状、

十九日、午前、曇天、小西重直、宮本和吉、吉田静致、浦谷ふみ来訪す、○Zeller. Die Philosophie der Griechen を読む、○勉強、○縫子、三越に赴く、○蔵経書院より来状、○葉書を得能文、黒木安雄及び深作安文に送る、○午后、土屋新之助来訪す、○講義に大学に赴く、○川島平五郎より来状、○川島平五郎、東亜協会々員となる、○齋藤精輔来訪す、○夜、文科大学より来状、○速記者築轍来る、乃ち談話を速記せしむ、○福井久藏来訪す、

二十日、午前、曇天、帝国大学より「大日本史料」一冊と「大日本古文书」一冊とを送来る、○蔵経書院より袱紗を送来る、○川島平五郎より来状、○深作安文、浦谷熊吉、岸田繁次郎来訪す、乃ち東亜協会幹部会を開く、○藤江林治来る、乃ち談話を筆記せしむ、○黒木安雄来る、来客中不能遇、○同文館の速記を訂正す、○縫子、贈物を携へて田中次郎宅を訪ふ、○春山育次郎来訪す、○午后、黒木安雄、小倉秀道、蠣瀬彦藏来訪す、○原稿を同文館に送る、○縫子押田三郎宅に赴く、○夜、哲学会に山上御殿に赴く、○此日、文明協会より砂糖樽を、大金よりビール壺箱を送来る、○宣光、罹腸胃病、

廿一日、午前、曇天、金港堂、大川長藏、竹生太郎吉、及び藤澤資金事務所より来状、○中島利一郎来訪す、○女中千代を文部省に

遣はす、○哲学会の速記を訂正す、○午后、雨天、引続き速記を訂正す、○高梨悌三、画幅を携来る、○夜、速記を訂正す、○帝国学士院より来状、○松平直亮より乃木大将謹書の勅語石印二枚を送来る、○此日、内閣組織成る、桂太郎、総理大臣兼外務大臣となり、大浦兼武、内務大臣となり、若槻禮次郎、大蔵大臣となり、木超安綱、陸軍大臣となり、松室致、司法大臣となり、柴田家門、文部大臣となり、仲小路廉、農商務大臣となり、後藤新平、逓信大臣となる、

廿二日、午前、曇天、宮本和吉、中島泰藏、伊藤吉之助、田中次郎夫妻、押田老母及び押田三郎夫妻来訪す、○田中押田等と会食す、○午后、富尾木知佳妻、鴨二羽を携来る、○鈴木大拙より鴨二羽を、隆文館より乾葡萄壺を送来る、○曹洞宗青年会員来訪す、○文学社員来る、乃ち之に「中学修身」(巻五)を付与す、○夜、Lewes, History of Philosophy を読む、

廿三日、午前、晴天、秋本雙一及び三省堂整理委員会より来状、○Lewes, History of Philosophy を読む、○吉田雪子来談す、○学習院女学部より御礼を携来る、○午后、土田誠一、椎尾辨匡来訪す、○森田章三来る、乃ち談話を速記せしむ、○大野政次郎より来状、○大村西崖より「密教発達流伝年表」を送来る、○夜、椎尾辨匡来訪す、○マニユフハクチュラス東京支店より来状、○富山房より印税を送来る、○谷内正順の原稿を訂正す、書状を文成社に送る、○此日、尚文館より鶏卵箱を送来る、○森良三郎、蜜柑箱を携来る、

廿四日、午前、晴天、蓮沼門三、浦谷熊吉、海老名彈正来訪す、○森田章三より速記の一部分を送来る、○女中千代を大学に遣はす、

○Armstrong, Life and Thought of Japan を読む、○午后、心理学会に山上御殿に赴く、○不在中野哲人来訪す、○小林正策より来状、○哲学会の速記を訂正す、○宣光少しく軽快、○夜、速記を訂正す、○此日、村松より角砂糖を、齋藤省三より鯉節と品料とを送来る、

廿五日、午前、晴天、森田章三より速記を送来る、○帰一協会の松信定雄より来状、○書状を帝国学士院に送る、○女中きよを東海銀行に遣はす、○永地氏妻、贈物を携来る、○文学社より煙草を送来る、○午后、帝国教育会開催の冬期講習会に赴き、「国民道徳の長所」を講述す、○岸田繁次郎老母、菓子を携来る、○深作安文妻、味の素を携来る、○中島勉、訳文大日本史五冊を携来る、○成美堂より漬物を送来る、○黒木安雄より書状と書苑拾四冊を送来る、○齋藤基次郎より味噌漬壺樽及菓子箱を送来る、○黒川眞道より鶏卵を送来る、○長谷川福平、郵便紙壺箱を携来る、○目黒甚七より砂糖壺箱を送来る、○森田章三より速記の残部を送来る、○森良三郎、大根を携来る、○夜、速記を訂正す、○岸田繁次郎、「東亜の光」(八の一)拾冊を携来る、是れを理想号となす、

廿六日、午前、晴天、由布惟義より来状、○帝国学士院より使者来る、○押田すが子来談す、○午后、講習会に帝国教育会に赴き、「国民道徳の将来」を講述す、聴衆約三百余名、○田中次郎及び文科大学より来状、○弘道館より菓子箱を、深作安文より漆器を送来る、○哲学会の速記を訂正す、○夜、引続き速記を訂正す、○帝国学士院より来状、

廿七日、午前、晴天、浦谷熊吉、渡邊政吉来訪す、○小倉秀道来る、

乃ち之をして談話を筆記せしむ、○山岸光宣来訪す、乃ち之に「東亜の光」理想号を付与す、○女中きよを遣はして原稿を宮本和吉に送る、○午后、講義に帝国教育会の講習会に赴く、○黒田侯爵邸の使者、詩稿を携来る、○正木直彦より「太子祭典展覧目録」を送来る、○浅倉屋より菓子箱を、同文館より文房具を、今福忍より文房具を送来る、○不在中加藤駒二来訪す、○書状を金港堂に送る、○土谷佐太郎より来状、○夜、谷内正順の原稿を訂正す、○「修身受用抄」を読む、○大隈伯より来状、○築轍より速記を送来る、○此日、元良信太郎より袱紗を送来る、

廿八日、午前、半晴、文部省より書状と書類とを送来る、○岡部良英、座親玄山等より来状、○修養団員花見喜代次、蓮沼門三の書状と漆器二箇とを携来る、○谷内正順の原稿を訂正す、○女中きよを遣はして吉田、姉崎、浦谷及び岸田に鯉節と鶴子餅料とを送る、○餅搗をなす、○「同情の深淺と人物の大同」一月号の向上に出づ、○中島敏子来訪す、○午後、諸橋轍次、「詩経研究」を携来る、○文成社より砂糖と御礼とを送来る、○姉崎袖子来訪す、○三井銀行に赴く、車中上村晋、近角常観等と会見す、○女中千代を遣はし井上成美宅に鯉節と鶴子餅料とを送る、○「仏教全書」を送来る、○谷内正順の原稿を訂正す、○土谷佐太郎より唐紙を送来る、○磯邊弥一郎より蜜柑箱を、姉崎正治より漬物樽を送来る、○樋口秀雄に鯉節と鶴子餅料とを送る、○有馬祐政来訪す、○夜、雨天、富田春山より来状、○谷内正順の原稿を訂正し了る、○「修身受用抄」を読む、○此日、車屋を遣はして鯉節と鶴子餅料とを笹川種郎、田中館愛橘、富尾木知佳、田中次郎、齋藤基次郎、齋藤省三、山中隣之助、山田暘朔、藤井健治郎、紀平正美、中島徳

藏、元良勇次郎、上田萬年、中島力造、大島正徳、蠣瀬彦藏、有坂幸代子、長田花子に送る、○雪、

廿九日、午前、雪、闊都銀世界を成す、○硫酸会社より来状、○「修身受用抄」を読了す、○速記を訂正す、○藤澤利喜太郎奨学金として金五円を送る、○電話使用料金拾六円五拾銭を郵便局に納む、○大正婦人社より Freda Fruit Jam を送来る、○「固本策」を読む、○午后、速記を訂正す、○「固本策」を読む、○田中義能より砂糖糖壺を送来る、○井上成美来談す、○夜、「正学指要」を読む、○野田義夫、中島徳藏、原田秀泰等より来状、○六盟館よりハンケチ壺打を送来る、○「固本策」を読む、○速記を訂正し了る、○此日、笹川種郎宅より菓子を送来る、

三十日、午前、晴天、婦人画報社より書柬箋を送来る、○加奈陀マヌユフハクチュラス生命保険会社計主任加藤祥三郎来る、乃ち之に保険金四百零四円を支払ふ、是れを第拾回となす、○速記を学習院教授福井久藏に送る、○午后、神社協会よりハンケチ壺打を送来る、○岩田僊太郎来訪す、○書状を岡部良英、座親玄山等に送る、○松本洪より来状、○松浦伯爵より「飛鷺」を送来る、○金港堂よりビール壺打及び教育家日記を、博文館よりビール半打を送来る、○女中千代を三菱銀行及び三越に遣はす、○西田敬止来訪す、乃ち俱に晚餐をなす、○晩成処より真綿を、井上成美より寝巻を送来る、○文成社より使者来る、○夜、大倉書店よりビール壺打を送来る、○松本鷹治より来状、○書状を浦谷熊吉に送る、○な、子壺反を富田貞松に送る、○此日、黒木安雄より使者来る、乃ち之に黒田侯の詩稿を付与す、○鯉節と鶴子餅料とを福来友吉、遠藤隆吉、森良三郎、深作安文、芳賀矢一及び中村き

よ子に送る、○押田夫妻、鳥羽に赴く、○井上健兒より塩鯛を送る、

廿一日、午前、晴天、井上清助より来状、○煙草を村松に、砂糖を姉崎に、角砂糖を押田に、砂糖を真浄寺に送る、○故北澤定吉の為に金五円を紀平正美に送る、○森良三郎来談す、○毛皮の襟巻を永地に送る、○渡辺政吉、辻新次の書状を携へて御礼の為に來る、○小林一郎及び中村安太郎より来状、○午后、浦谷熊吉、岸田繁次郎、木川又吉郎来訪す、○加藤玄智より来状、○林平次郎より銅製花瓶を送る、○菓子を井上健兒、野田義夫、富田順吉、大町美種及び井上お末に送る、○書状を梶島二郎に送る、○「留魂録」を読む、○夜、雜誌類を読む、○茲に歳末に際し、過去一年間の事を瞥見するに、購入書籍五拾四部、寄贈書籍百五拾壹部、合計貳百〇五部○教科書類の検印は「中学修身」參万貳千六百貳拾、「女子修身」壹萬四千百五拾、「農業修身」壹百、「師範修身」八百、合計四萬七千六百七十部（以上金港堂）○文学社の分は、「実業修身」五百、「中学修身」四千參百五拾五、○六盟館の分は「実業修身」一千八百、○晚成処の分は「初等勸語」一千貳百、「師範修身」貳千八百、合計壹萬零六百五拾五部、金港堂の分と合すれば、五萬八千三百貳拾五部（以上教科書）○其他

- 朱子哲学……………一五〇
- 古学哲学……………七〇
- 陽明哲学……………三〇〇
- 倫理と教育……………二〇〇
- 教育と修養……………二〇〇
- 哲学字彙……………一〇〇〇

国民道徳概……………	四〇〇〇		
国民道徳叢書……………	一八〇〇		
勸語衍義……………	一〇〇〇		
学生宝鑑……………	一〇〇〇		
合計……………	八八二〇		
総発行部数……………	六七・一四五		
年未到来物如左			
砂糖壹樽	文明協會	文房具	同文館
菓子	笹川	漬物	姉崎
菓子	浅倉	菓子	弘道館
状紙状袋	富山房	ハンケチ	六盟館
漬物壹樽	成美堂	銅製花瓶	林平次郎
洋酒三瓶	丸善	反物	磯江潤
鴨二羽	富尾木	砂糖壹樽	田中義能
鶏卵	黒川眞道	煙草	文学社
蜜柑	磯部弥一郎	味噌漬及菓子	齋藤基次郎
重箱及味の素	深作安文	菓子	岸田繁次郎
蜜柑箱	森良三郎	鯛	井上健兒
乾葡萄酒入	隆文館	寝巻及乾葡萄	井上成美
蒲鋒	常盤大定	菓物	吉田豊吉
真綿	晚成処	書苑	黒木安雄
袱紗	蔵経書院	鴨二羽	鈴〔木〕大拙
鶏卵箱	尚文館	盆二箇	修養団
角砂糖	村松	砂糖壹箱	目黒甚七
文房具	今福忍	砂糖壹箱	文成社

シヤミ 大正婦人社 書柬箋 婦人画報社

ハンケチ壺打 神社協会 ビール壺打 大倉書店

ビール壺打 金港堂 ビール半打 博文館

蜜柑箱 岩橋遵成 菓子 吉田熊次

餅 押田三郎

◎年内の重大事件は(一)東亜の光保証金を内務省に納む、(二)硫安会社に式拾株を申込む、(三)叙勲二等授瑞宝章、(四)国民道徳概論を公にす、(五)巢鴨に借家二軒を建築す、(六)清子、押田三郎に嫁す、

(むらかみ こずえ 東京大学文書館)

(もりもと さちこ 東京大学文書館)